MITSUBISHI

sRGB

三菱液晶プロジェクター

形名

LVP-XL2550

取扱説明書

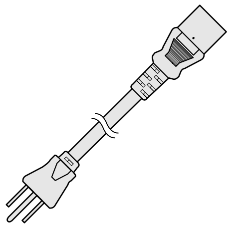
はじめに
映像を見る
設定・調整する
その他

このたびは三菱液晶プロジェクターをお買上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買上げの販売店からお受け取りください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

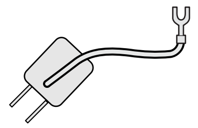
付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する（このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。）

■ 電源関係



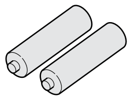
電源コード



変換アダプター

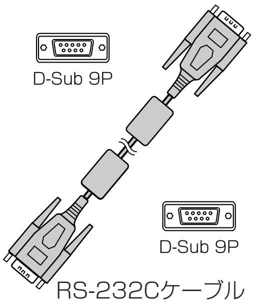
■ リモコン関係

リモコン

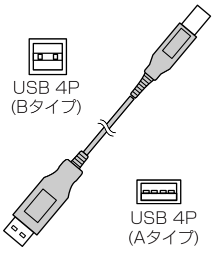


単三乾電池(2本)

■ パソコン制御関係

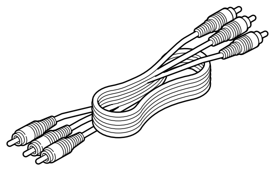


RS-232Cケーブル

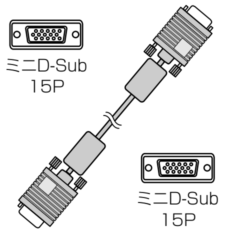


USBケーブル

■ 映像(音声)関係



AVケーブル



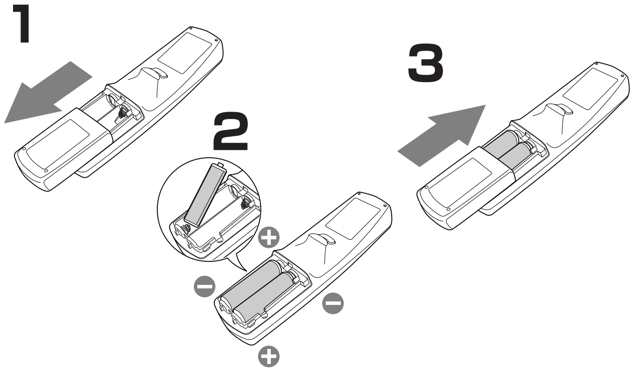
RGB信号ケーブル

■ その他

- ・レンズキャップ(本体に付属)
- ・取扱説明書
- ・クイックスタートアップ
- ・保証書
- ・CD-ROM
- ・三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内
- ・ランプ交換用トレー

● 付属の電源コード、変換アダプターは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

リモコンに乾電池を入れる



1 リモコン裏面のフタをはずす

2 乾電池の(＋)、(－)をよく確かめて、(－)側から正しく入れる

● 乾電池を(＋)側から入れると、(－)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れ、ショートして発熱する恐れがあります。

3 裏面のフタを取り付ける

● 乾電池は、単三乾電池（R6P）を2本お使いください。
● リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

⚠注意

●乾電池は、7ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」を良く読んで、正しくお使いください。使用を誤ると液もれや発熱、破裂により、火災やけがが、周囲の汚損の原因となることがあります（乾電池に表示されている注意事項もお読みください）。
●このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつそのコンセントには、容易にアクセスできなければなりません。
●本機には付属の電源コードをご使用ください。付属以外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。
●J55022 クラス B装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属のRGB信号ケーブルとRS-232Cケーブルおよびシールドされたもの LANケーブルをご使用ください。
●本機は必ず接地してください。

もくじ

はじめに

安全のために必ずお守りください ……… 4〜7
各部のなまえ ……… 8、9
本体のなまえ ……… 8、9
リモコンのなまえ ……… 9
リモコンの使いかた ……… 10

映像を見る

設置する ……… 11
コンピューターの映像を見る ……… 12〜15
A. コンピューターと接続する ……… 12、13
B. 電源コードを差込む ……… 13
C. 投写する ……… 13〜15
プレゼンテーションを演出する ……… 16〜19
リモコンをレーザーポインターとして使う ……… 16
リモコンをコンピューターのマウスとして使う(マウスリモコン) ……… 16
リモコンをプレゼンテーションソフトのページ送りキーとして使う ……… 16、17
映像と音声を一時的に消す(AVミュート) ……… 17
画面を拡大して見る(EXPAND) ……… 17
コンピューターとビデオ映像を同時に見る(PinP) ……… 18
起動時およびミュート時などの画面を変更する ……… 18、19
ビデオ機器の映像を見る ……… 20〜22
A. ビデオ機器と接続する ……… 20、21
B. 電源コードを差し込む ……… 21
C. 投写する ……… 21、22

設定・調整する

メニューを使って設定する ……… 23〜27
メニュー遷移図 ……… 23
メニュー設定のしかた ……… 24
メニューで設定できること ……… 24〜27
映像を調整する ……… 28〜31
映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト) ……… 28
白の色合いを調整する(色温度の詳細設定) ……… 28
色を調整する(色の濃さ、色合い) ……… 28
映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス) ……… 28
スクリーン(壁色)に合わせた色を調整する ……… 28
独自の明るさと色合いを設定する(カラーエンハンサーの詳細説明) ……… 29
コンピューター映像の調整 ……… 30、31

その他

パスワードを設定する ……… 32
コンピューターによる監視と制御 ……… 33
設置工事を依頼するときは ……… 34
お掃除のしかた ……… 35
光源ランプを交換する ……… 36、37
故障かなと思ったら ……… 38、39
索引 ……… 40
端子について ……… 40
仕様 ……… 41、42
別売品 ……… 41
接続できる信号の種類 ……… 42
保証とアフターサービス ……… 43
インジケーターの見かた ……… 裏表紙

商標・著作権について

- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft社の米国およびその他の国における登録商標です。
- PJLinkは、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国や地域における出願商標または登録商標です。
- その他、本書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

- アスペクト比の切り換えについて
  - 本機はアスペクト比切り換え機能(22ページ)を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比でご覧ください。
  - 本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください	絶対に水にぬらさないでください
絶対にぬれた手で触れないでください	絶対に水場では使用しないでください	必ず指示に従い、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

警告

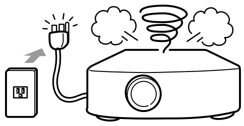
故障したまま使用しない

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

プラグを抜く

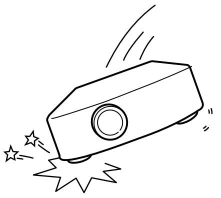
煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!



プラグを抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない

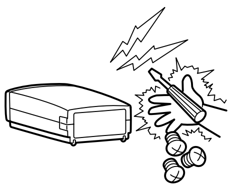


使用禁止

火災や感電の原因となります。

次のようなことはしない

キャビネットをはずしたり、改造しない

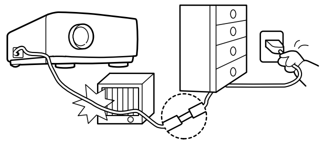


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない
- じゅうたんなどの下にひかない



禁止

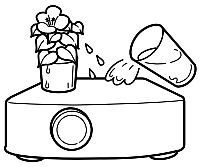
コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

内部に異物を入れない

禁止

金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない



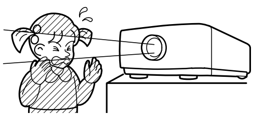
禁止

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

⚠警告

次のようなことはしない(つづき)

レンズをのぞかない

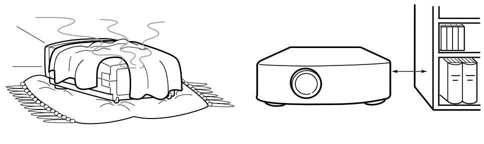


禁止

光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。

吸気口、排気口をふさがない

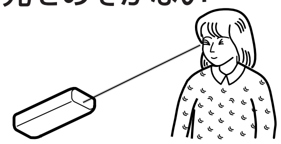
- 風通しの悪い狭い場所に置かない (壁から50cm以上離す)
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない



禁止

吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

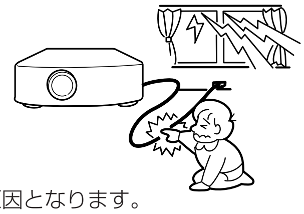
レーザー光をのぞかない



禁止

レーザー光が目に入ると失明の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



接触禁止

感電の原因となります。

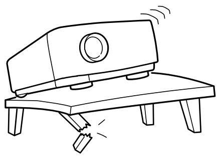
可燃性の溶剤(ベンジンやシンナーなど)やスプレーを近くで使用しない

禁止

ランプを点灯すると製品内部は非常に高温になるため、引火し、火災や故障の原因となることがあります。

次のような場所に置かない

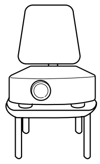
不安定な場所には置かない



禁止

(特に上下逆さまに置いた状態で)ぐらついた台の上や、傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

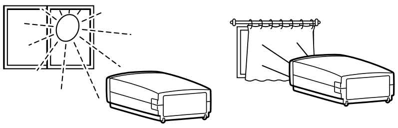
ソファー、椅子などの上に置かない



禁止

吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

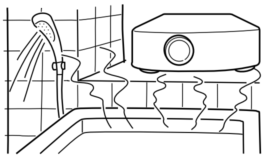
直射日光の当たる場所に置かない
レンズを太陽に向けたり、レンズの直前に物を置かない



禁止

火災や故障の原因となります。

風呂場では使わない

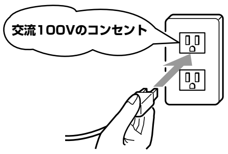


水場での使用禁止

火災や感電の原因となります。

その他

正しい電源電圧で使う



交流100V

交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

禁止

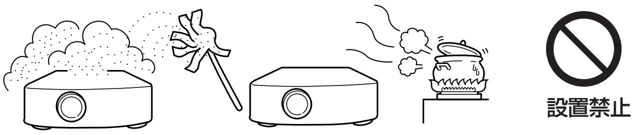
安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠注意

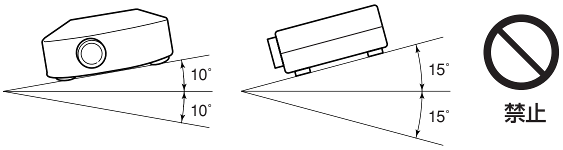
次のような場所には置かない

設置時は、次のような場所には置かない

- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 火災報知器の近く
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 振動や衝撃が加わる場所

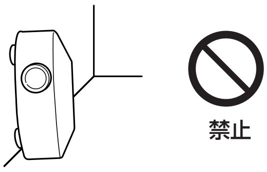


傾けた状態で動作させない



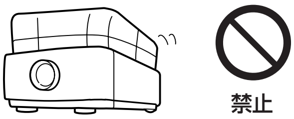
傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。
左右方向に対して±10°、前後方向に対して±15°を越えて傾けた状態で動作させないでください。

立てた状態で置かない



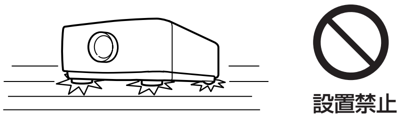
倒れて、けがや故障の原因となります。

重いものを置かない、踏み台にしない



本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

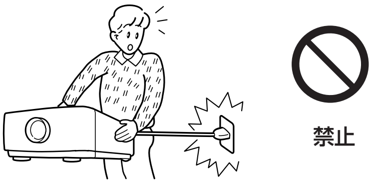
ワックスのかかった床に直接置かない



床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とプロジェクター底面脚部分の密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

電源コード・プラグについて

接続したまま移動させない

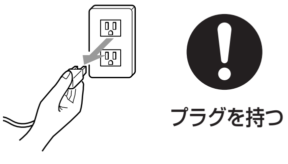


電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。
1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

電源プラグを持って抜く



電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

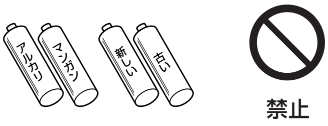
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

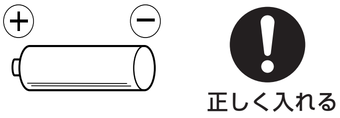
⚠注意

乾電池の取り扱いについて

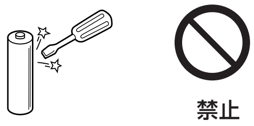
新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。



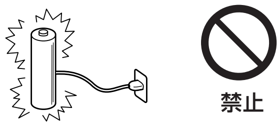
プラス（＋）とマイナス（－）の向きを正しく入れる。



分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない。



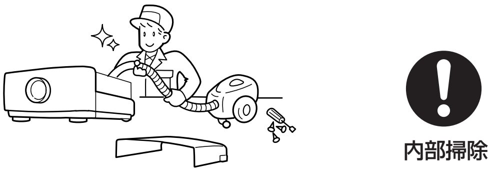
乾電池を充電しない。
充電式の電池は使用しない。



- 乾電池は、(—)側から入れてください。
  乾電池を(＋)側から入れると、(—)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。
- 使いきった乾電池は、すぐに取り出してください。
- 乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 使用済みの乾電池は、地域の破棄ルールに従って破棄してください。
- 乾電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。

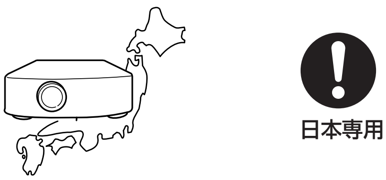
その他

1年に一度は内部の掃除を依頼する



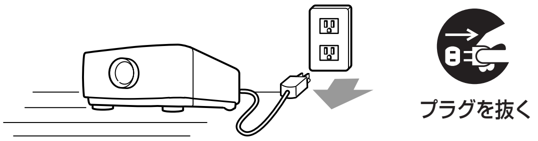
三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。ほこり、油煙、けむりなどにより内部に汚れが付着したまま長い間掃除をしないと、火災、故障や光学部品の汚れによる輝度劣化の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

このプロジェクターは日本国内専用です



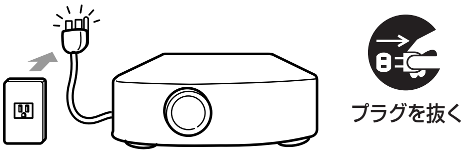
電源電圧の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



電源ボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ（待機状態）にします。**約2分間**待ったあと、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
スタンバイにして約2分間待つのは、光源ランプを冷やすために吸、排気ファンが回っているからです。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う



安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
感電の原因となることがあります。

製品使用中は排気口をのぞき込まない

排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。

排気口、底板は熱くなりますので触れないこと

やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。

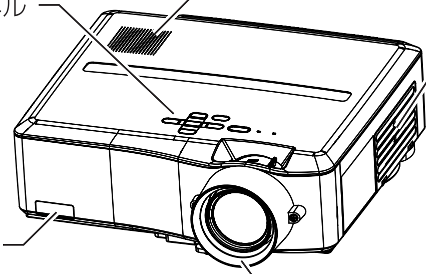
海抜1500m以上での使用は避ける

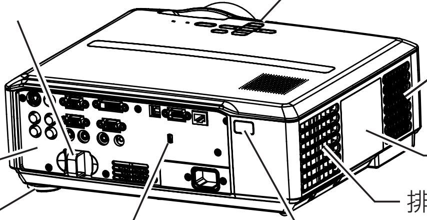
海抜1500m以上での使用は、製品の寿命に影響するおそれがあります。

各部のなまえ

本体のなまえ（○は参照ページ）

本体

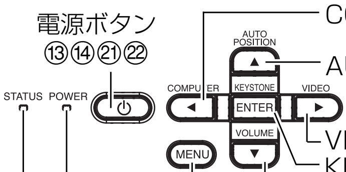




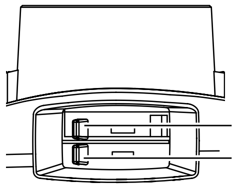
⚠注意

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

操作パネル(天面)

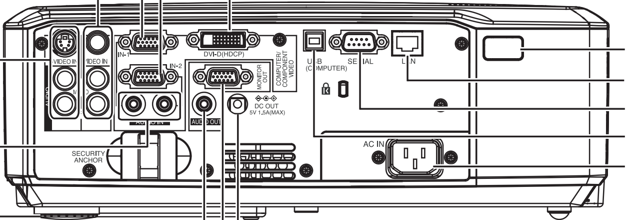


レンズ側



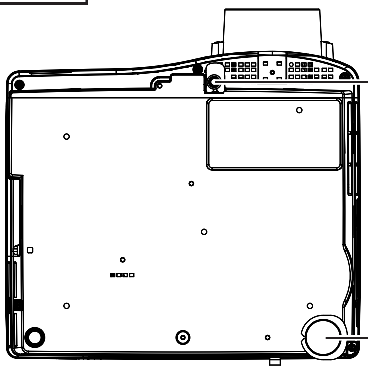
● COMPUTER、VIDEO、AUTO POSITION、VOLUMEボタンは、メニュー表示中、台形補正表示中、パスワード入力中、イメージキャプチャー中および音量調整中にはそれぞれ、◀、▶、▲、▼ボタンとしてはたらきます。

端子パネル部

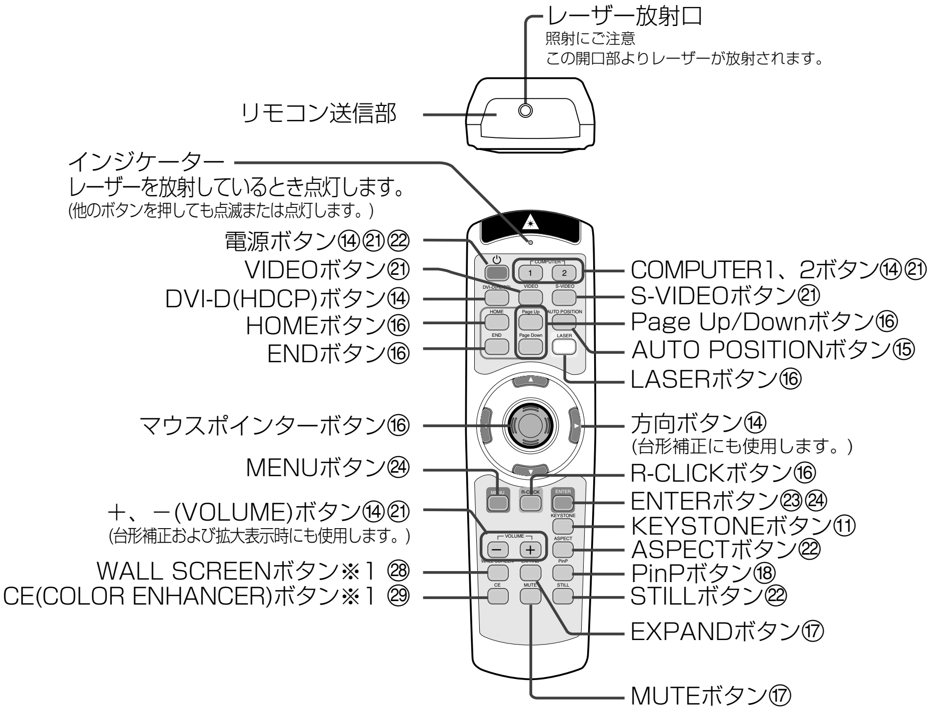


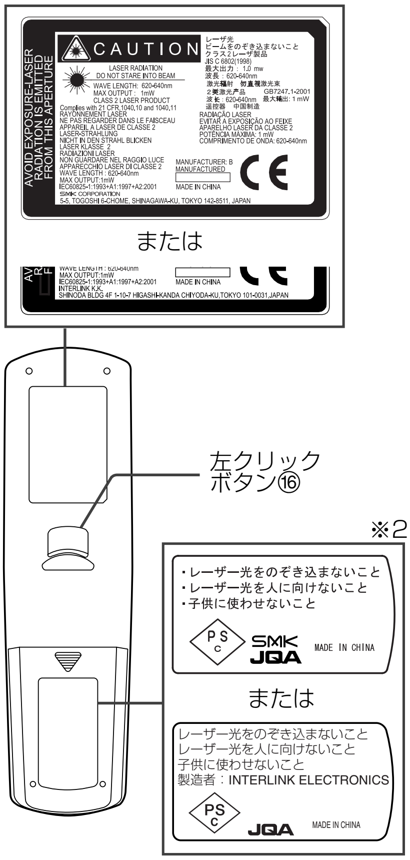
※ コンピューターで本機を制御するときに使用します。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。
※※ 指定の無線LANユニット以外の電源として使用しないでください。（無線LANユニットは付属されていません。）
※※※ AUDIO IN-1 端子は COMPUTER1 と DVI 入力に使います。

底面部



リモコンのなまえ（○は参照ページ）





※1：各ボタンを押すと調整用の画面が右上に表示されますので方向ボタン、ENTERボタンを押して調整してください。
※2：リモコン裏面のラベルは各々2種類あり、いずれかが貼付されています。

⚠警告

付属のリモコンは、LASERボタンを押すとレーザー光を発します。
以下の事項を必ずお守りください。

- レーザー光をのぞき込まないこと。
- レーザー光を人に向けないこと。
- 子供に使わせないこと。

レーザー光が目に入ると失明の原因となることがあります。
ご使用になる前にリモコンの注意表示をよくお読みになり、必ずお守りください。

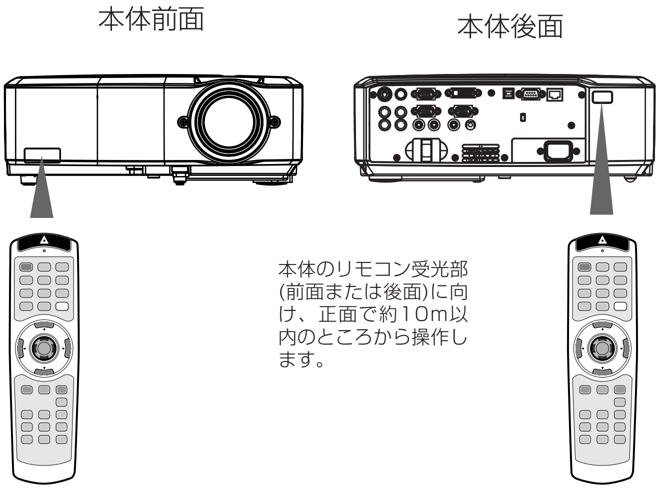
レーザー光について

このリモコンはクラス2（最大出力：1.0mW、レーザー光の波長：620～640nm）レーザー製品です。
ビームの広がり：6mの位置で10.0mm×10.0mm(±6mm)。

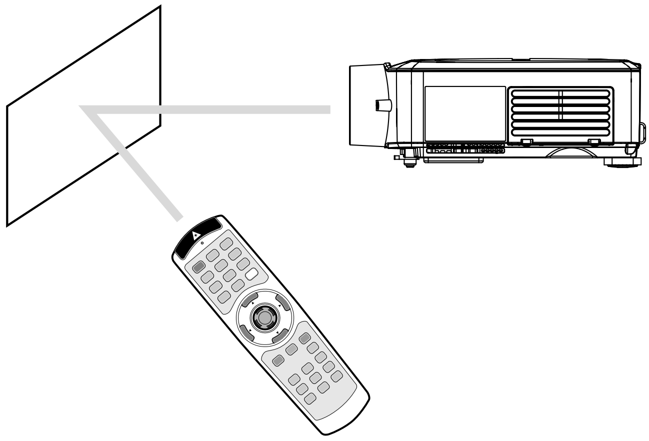
- ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

本リモコンは修理できません。

リモコンの使いかた



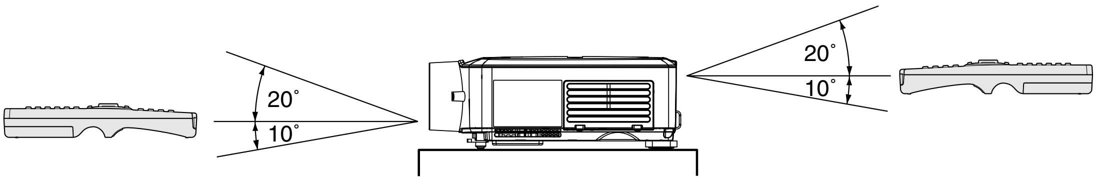
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は2m以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバーター方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなることがあります。
- リモコンと本体を近づけ過ぎると、リモコンが効きにくくなることがあります。



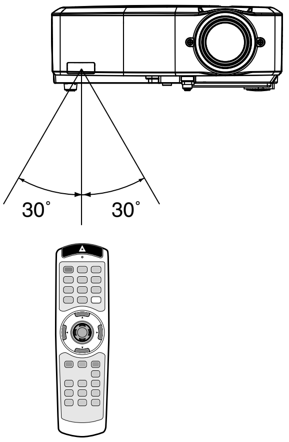
- スクリーンに向けて操作する場合は、リモコンからスクリーンおよびスクリーンから本機までの合わせた距離が約5m以内にします。ただし、スクリーンによって操作可能範囲は異なります。

操作範囲

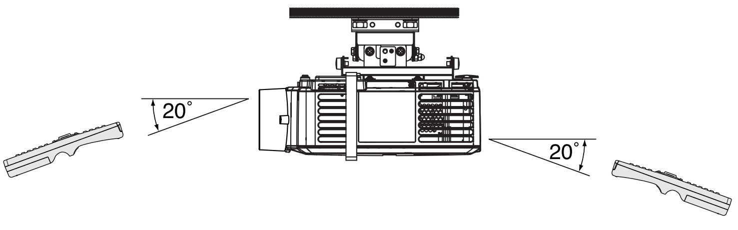
上下方向



左右方向



上下方向(天吊り時)



設置する

スクリーンの設置

スクリーンはプロジェクターに対して垂直になるように設置してください。垂直に設置できない場合は、プロジェクターの投写角度を調整してください(下記参照)。

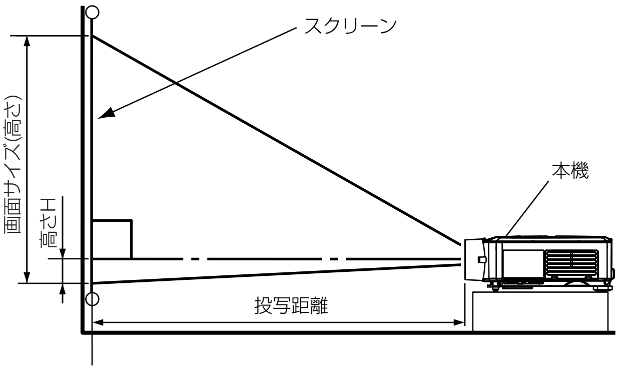
- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、投写映像が見にくくなります。

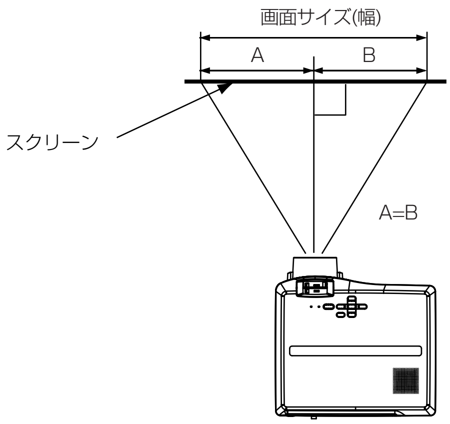
画面サイズと投写距離

下記の表を参考にスクリーンサイズを決めてください。

画面サイズ			投写距離:L		高さ:H
(形)	幅(cm)	高さ(cm)	最短(m)	最長(m)	(cm)
40	81	61	1.4	1.8	6
60	122	91	2.1	2.7	9
80	163	122	2.9	3.7	12
100	203	152	3.6	4.6	15
150	305	229	5.4	6.9	23
200	406	305	7.3	9.3	31
250	508	381	9.1	–	38
300	610	457	10.9	–	46

- 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。





- 設置する場所については、あらかじめ4～7ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。
- スクリーンに直接照明などがあたらないようにしてください。映像がぼやけて見えることがあります。
- 天吊りにするなどの設置工事は、必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは34ページをご覧ください。

投写角度を調整する

スクリーンに角度がついていて画面が台形にひずんでいるときは、以下のようにして投写角度を調整してください。

1. 本体を投写させたい角度まで持ち上げる
   - 傾き角を前後方向に対して15°以内に設置してください(角度調整脚のみによる角度調整角は、最大7°になります)。
2. 角度調整脚(前)を左右に回して調整する
3. 本体を投写させたい角度まで持ち上げる
   - 傾き角を左右方向に対して10°以内に設置してください。
4. 角度調整脚(後)を左右に回して画面が平行になるように調整する

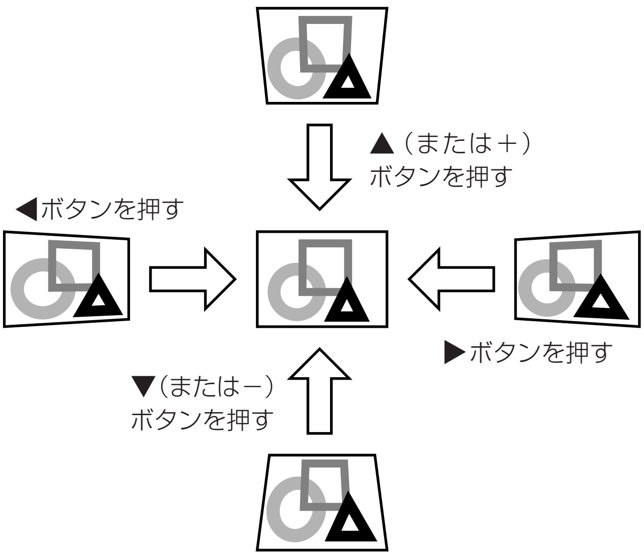
スクリーン上の映像に縞模様が見えるときは

スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。
スクリーンを交換するか、本機のフォーカスを少しずらしてみてください。(14、22ページ参照)

画面が台形にひずむときは

スクリーンと本機が垂直になっていないと画面が台形になります。本機およびスクリーンを調整しても垂直にならないときは、本体またはリモコンのKEYSTONEボタンを押して「台形補正」を表示させてから、◀、▶、▲(または+)、▼(または−)ボタンを押して調整します。

床置きで正面から映像を見たとき



- 台形補正時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 調整時に表示される調整値は、設置状態により調整範囲が異なります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、アスペクト比が4:3にならない場合があります。
- 台形補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がりなどの現象が見られますが、故障ではありません。
- 入力信号によっては、画像が正常に表示されないことがあります。
- 水平･垂直の台形補正を組み合わせて行うと、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正できる範囲が狭くなります。
- 台形補正を行うと映像がひずむことがあります。
- オプションレンズ使用時に台形補正を行うと、画面のアスペクト比が4:3にならない場合があります。

コンピューターの映像を見る

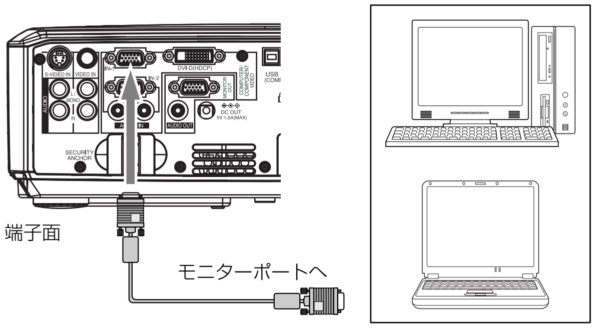
A.コンピューターと接続する

● 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
● 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

● プロジェクターおよびコンピューターの電源が切れていることを確認する
● デスクトップタイプの場合、モニターに接続されているRGB信号ケーブルをはずす

アナログRGB(ミニD-Sub15ピン)端子付きコンピューターと接続する

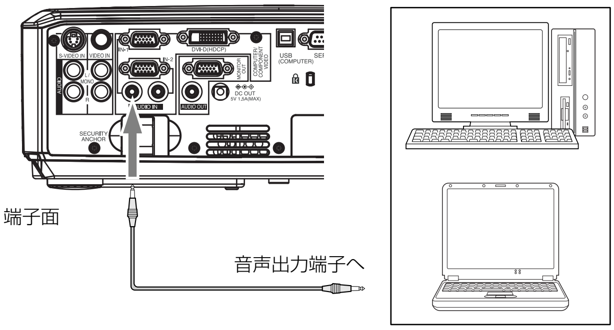


1 付属のRGB信号ケーブルを本機のCOMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1(または2)端子に接続する

2 コンピューターのモニターポートにRGB信号ケーブルのもう一方を接続する

● 接続するコンピューターの機種によっては、変換コネクターやアナログRGB出力アダプターなどが必要となる場合があります。
● 付属のRGB信号ケーブル以外の長いケーブルを使用すると、映像が正常に映らないことがあります。
● 本機のCOMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1 端子はDDC1/2Bに対応しています。この規格に対応したコンピューターと接続した場合、コンピューターが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
● DDC対応のコンピューターと接続している場合、本機の電源プラグを電源コンセントに差し込んでからコンピューターを起動してください。

コンピューターの音声をプロジェクターから出力する

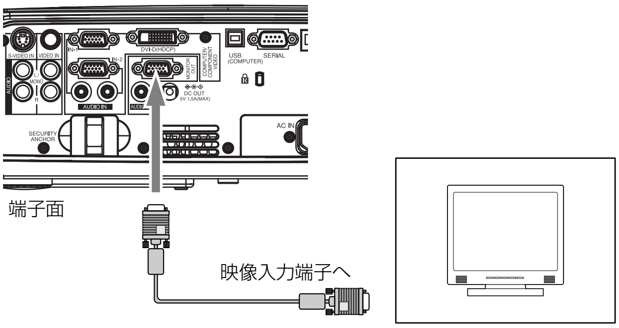


1 PC音声ケーブル(市販品)を本機のAUDIO IN-1(または2)端子に接続する

2 PC音声ケーブルのもう一方をコンピューターの音声出力端子に接続する

● 本機の音声入力端子は、ステレオミニジャックです(ただし、スピーカー出力はモノラルになります)。接続するコンピューターの音声出力端子の形状に合わせてケーブルをお買い求めください。

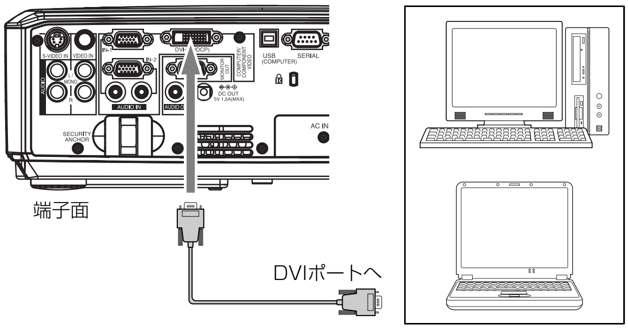
プロジェクターの投写映像をモニターで見る(デスクトップのみ)



1 モニターに接続されているRGB信号ケーブルを本機のMONITOR OUT端子に接続する

● 接続するケーブルによっては、正常に映像が映らないことがあります。

DVI端子付きコンピューターと接続する



1 DVIケーブルを本機のCOMPUTER/COMPONENT VIDEO DVI-D(HDCP)端子に接続する

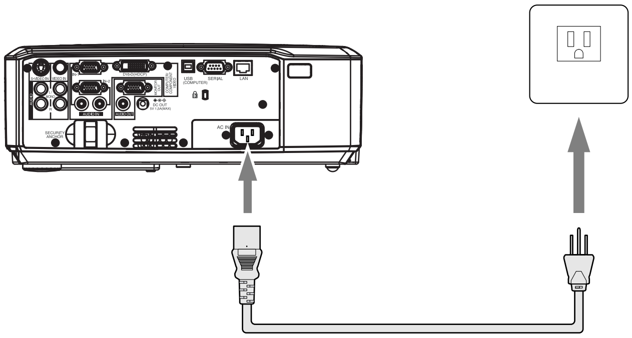
2 コンピューターのDVIポートにDVIケーブルのもう一方を接続する

3 本機の電源コードを差し込んでからコンピューターを起動する

- 先にコンピューターを起動した場合、映像が表示されない場合があります。
- 本機のCOMPUTER/COMPONENT VIDEO DVI-D(HDCP)端子はDDC2Bに対応しています。この規格に対応したコンピューターと接続した場合、コンピューターが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC対応のコンピューターと接続している場合、本機の電源プラグを電源コンセントに差し込んでからコンピューターを起動してください。

B. 電源コードを差し込む

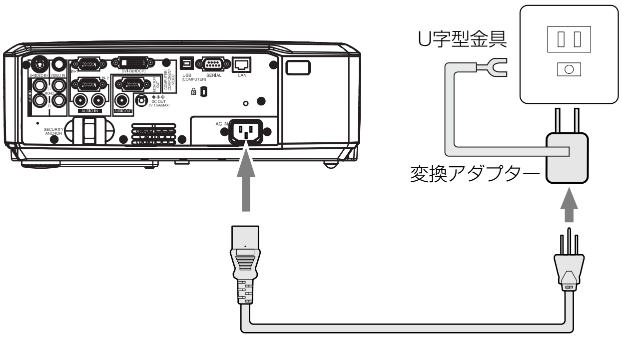
電源コンセントにアース端子の差込口が付いている場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込口が付いていない場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方に付属の変換アダプターを取り付ける

3 変換アダプターのU字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する

- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から抜いたあとに行ってください。
- 変換アダプターのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けないでください。
- 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください(有料)。

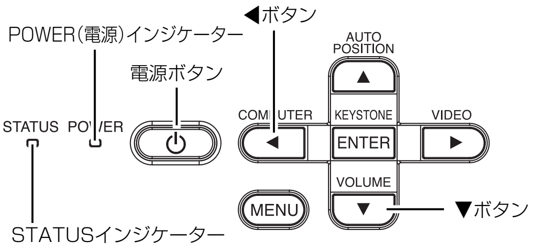
4 変換アダプターを電源コンセントに差し込む

- 本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。

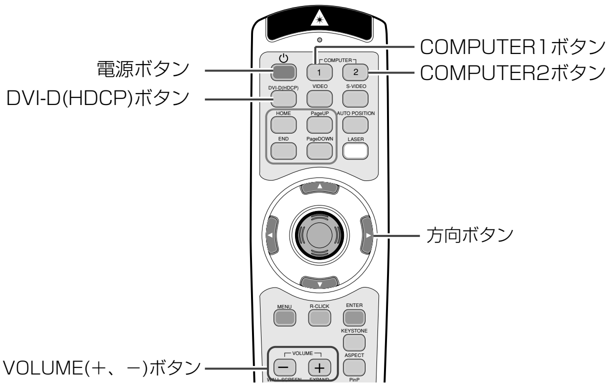
C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- コンピューターの電源を入れる

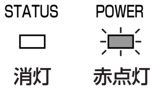


コンピューターの映像を見る(つづき)



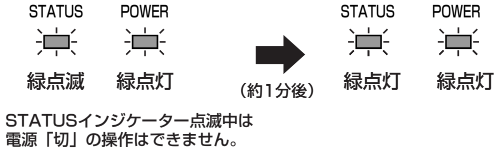
電源を入れる

1 POWERインジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに差し込むと、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに差し込むと、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタン(⏻)を押して、再度点灯させてください。

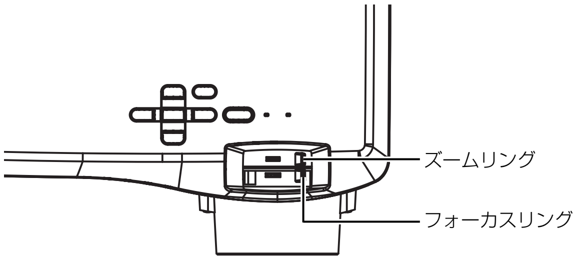
2 電源ボタン(⏻)を押す



- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度電源ボタン(⏻)を押してください。
- 電源ボタン(⏻)を押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約1分で「低」モードに切り換わります。
- レンズキャップ内側のアルミシートを剥がさないでください。

ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する



入力を切り換える

4 リモコンのCOMPUTER1(または2)ボタン、DVI-D(HDCP)ボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押す

- 本体のCOMPUTERボタンを押すごとに、「COMPUTER1(RGB入力)」→「COMPUTER2(RGB入力)」→「DVI(DVI-D入力)」→「COMPUTER1(RGB入力)」と切り換わります。
- ノートタイプのコンピューターの場合、コンピューター側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは15ページをご覧ください。
- 画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。ただし、DVI信号入力時ははたらきません。
- メニュー画面表示中は、入力切換できません。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、11ページの表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(11ページ参照)。

7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

- 必要に応じて、操作 3 〜 7 の設定は微調してください。

音量を調整する

8 リモコンのVOLUME(+または−)ボタンを押して音量を調整する

- 本体で操作する場合は、VOLUMEボタンを押してから、◀または▶ボタンを押して調整します。
- メニューが表示されているときは、VOLUMEボタンははたらきません。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。電源プラグを抜いて電源を切った場合、ランプ性能の劣化や本体故障の原因となることがあります。

9 電源ボタン(⏻)を押す

- 「電源オフ時は再度電源ボタンを押してSTATUSインジケーターが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。
- この状態を解除するには、電源ボタン(⏻)以外のボタンを押してください。または10秒後にメッセージは消えます。

10 電源ボタン(⏻)をもう一度押す

- 光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。

11 STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約2分間そのまま待つ

- スタンバイ状態で約2分間待つのは、光源ランプを冷やすために、吸、排気ファンが回っているからです。
- STATUSインジケーターが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

12 電源プラグをコンセントから抜く

- POWERインジケーターが消灯します。
- 必要なときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、コンピューターと接続しているケーブルを外します。

ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピューターと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピューターの信号を外部に出力させる設定を行ってください。設定のしかたは、コンピューターによって異なりますので、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- 外部出力させる操作の例
  「Fn」キー+「F1」〜「F12」キーのいずれか(機種によって異なります)を押す。

AUTO POSITIONボタンについて

コンピューターの映像がずれるときは、以下の操作を行ってください。

1. できるだけ明るいテキスト文書など文字を多く含む画面にする。
2. スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する。
3. AUTO POSITIONボタンを押す。
   入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。

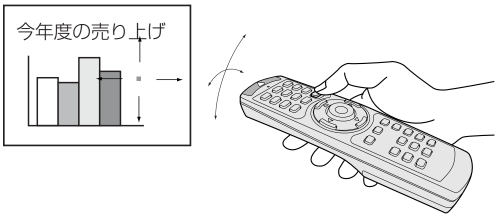
- 数回、AUTO POSITIONボタンを押してもまだずれる場合は、コンピューター映像の調整(30、31ページ)の項を参照して調整してください。

プレゼンテーションを演出する

プレゼンテーションを行う上で、便利な使い方を紹介します。

リモコンをレーザーポインターとして使う

注目させるポイントを赤い点で指し示すことができます。



リモコンのLASERボタンを押している間、レーザー光を発します。

- レーザー光は、1分間照射すると自動的に発光を停止します。もう一度照射する場合は、LASERボタンを一度離してから、もう一度押してください。
- 安全のために、LASERボタンを押してもレーザー光を照射しないようにすることもできます。

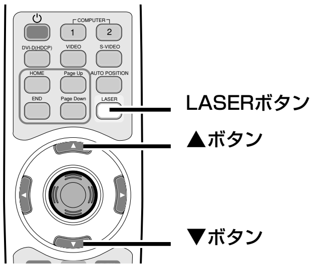
設定のしかた

LASERボタンを押しながら▼ボタンを3回押します。

設定解除のしかた

LASERボタンを押しながら▲ボタンを3回押します。

- 電池交換した場合、設定が解除されます。



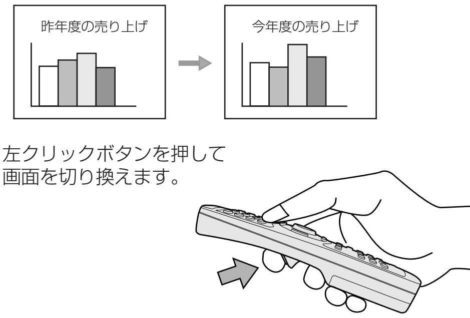
⚠警告

- レーザー光を直接のぞき込まないでください。また、レーザー光を人に向けないでください。レーザー光が目に入ると失明の原因となることがあります。

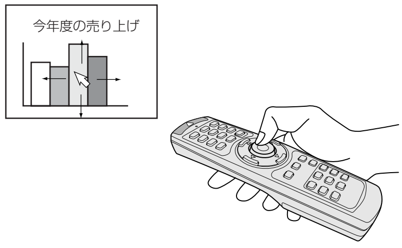
リモコンをコンピューターのマウスとして使う（マウスリモコン）

本機のリモコンでコンピューターの操作が行えるので、たとえば、プレゼンテーションソフトのページをめくったり、コンピューター画面上のカーソルを動かすことができます。

次の画面へ切り換える

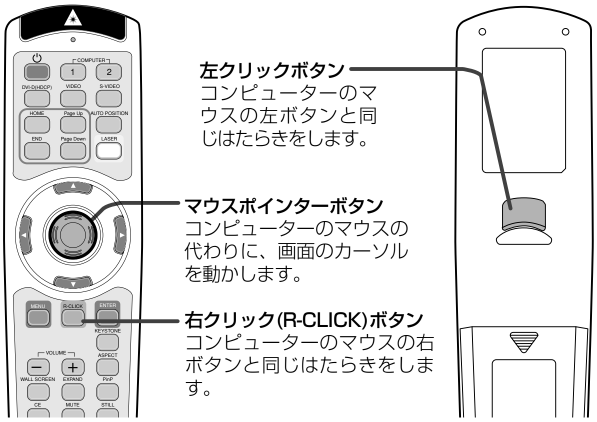


カーソルを動かす



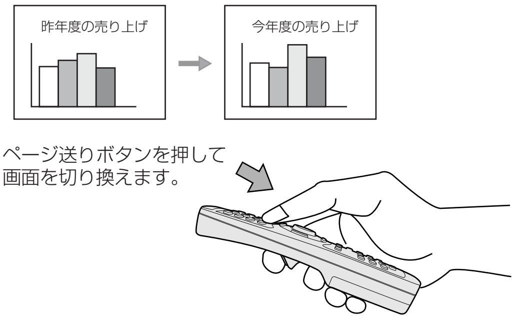
マウスポインターボタンを押してカーソルを動かします。

マウスとして使用するボタン

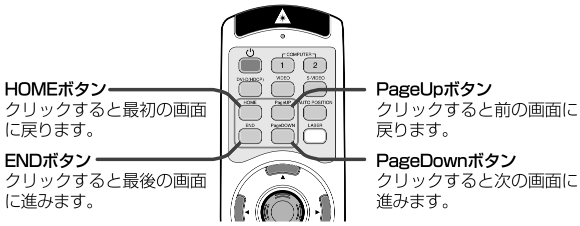


リモコンをプレゼンテーションソフトのページ送りキーとして使う

本機のリモコンでコンピューターの操作が行えるので、プレゼンテーションの画面を進めたり、戻したり、最初のページや最後のページに飛ばしたりすることができます。

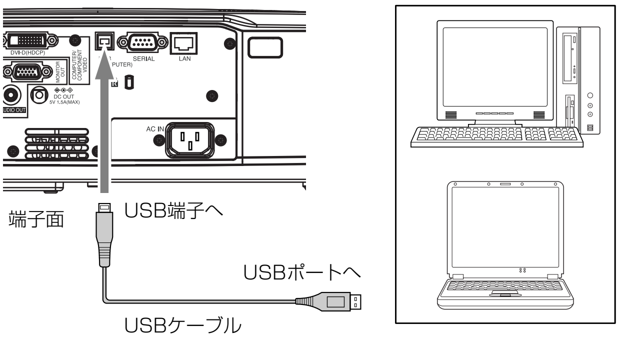


ページ送りキーとして使用するボタン



本機のリモコンでコンピューターの操作を行うために、次の接続をします。

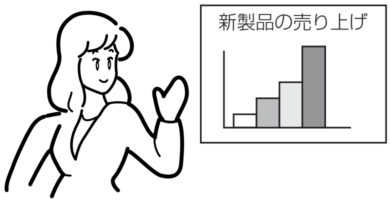
USBポート付き機種との接続



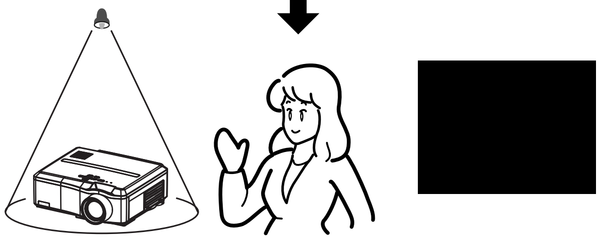
- USB接続してマウス操作できるのは、USBを標準でサポートしているパソコンのみです。
- USBケーブルは、本機の光源ランプが点灯してから接続してください。
- POWER ON時の数十秒間は、マウス機能が停止します。
- 長いUSBケーブルを使用すると、リモコンによるコンピューターの操作が正常に行えない場合があります。ケーブル長を長くしたい場合は、リピーターのご使用をおすすめします。

映像と音声を一時的に消す(AVミュート)

スピーチやプレゼン映像以外のものに視線を集中させたいときなど、一時的に映像と音声を消すことができます。



「新製品の売り上げは、このグラフのとおりです。」



「これが、その新製品です。」

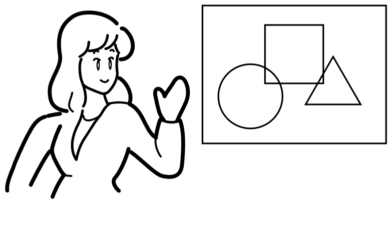
操作のしかた

1 リモコンのMUTEボタンを押す

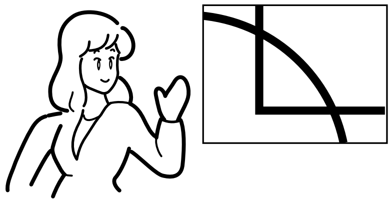
- 映像が真っ暗になり、音声が消えます。
- もう一度MUTEボタンを押すと、通常画面に戻ります。
- AVミュートの解除には数秒かかります。

画面を拡大して見る(EXPAND)

本機は画面拡大機能により、画面の一部を拡大して見ることができます。



「この丸と四角の交点にご注目ください。」



「少しわかりにくいので拡大してみます。」

表示のしかた

1 リモコンのEXPANDボタンを押す

- 画面拡大表示になります。
- もう一度EXPANDボタンを押すと、通常画面に戻ります。

拡大率を変更するときは

1 リモコンの＋または－ボタンを押す

- ＋ボタンを押すと拡大率が大きく、－ボタンを押すと小さくなります。

拡大させる範囲を変更するときは

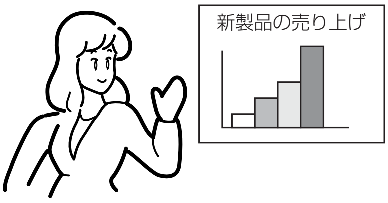
1 ▲、▼、◀、▶ボタンを押す

- 画面拡大表示中は、音量調整はできません。
- 画面拡大表示中は、信号設定メニューは表示できません。
- 画面拡大表示は、「COMPUTER1」「COMPUTER2」「DVI」入力の映像を表示しているときのみはたらきます。「VIDEO」「S-VIDEO」入力の映像を表示しているときははたらきません。
- 入力信号によっては、EXPANDがはたらかない場合があります。対応信号については42ページをご覧ください。

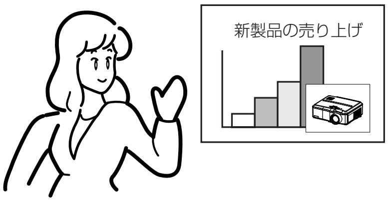
プレゼンテーションを演出する(つづき)

コンピューターとビデオ映像を同時に見る(PinP)

異なる入力の映像を同時に見ることができます。



売り上げは、このように順調に伸びています。



その成功の秘訣をビデオ映像で紹介します。

表示のしかた

1 リモコンのPinPボタンを押す

- 「COMPUTER1」「COMPUTER2」「DVI」入力の映像を表示しているときのみはたらきます。このとき、「VIDEO」または「S-VIDEO」入力の映像が子画面として表示されます。
- もう一度PinPボタンを押すと、通常画面に戻ります。

PinP中の入力切換について

- PinP中にリモコンのCOMPUTER1、COMPUTER2、DVI-D(HDCP)ボタン、または本体のCOMPUTERボタンを押すと、PinPを解除し、入力切換を行います。
- PinP中にリモコンのVIDEO、S-VIDEOボタン、または本体のVIDEOボタンを押すと、子画面の入力切換を行います。

子画面の表示位置を変更するときは

1 ◀または▶ボタンを押す

- 子画面が無信号の場合は表示位置の変更はできません。
- PinPモード中の音声は、親画面の音声が出力されます。
- PinPモード中は、メニュー画面での信号設定はできません。
- PinPモード中、親画面の入力が無信号になった場合PinPは解除されます。
- 親画面の入力信号によっては、PinPがはたらかない場合があります。対応信号については42ページをご覧ください。
- 入力信号や設定によっては子画面のサイズがかわります。
- アスペクト比がAUTO以外はPinPは動作しません。

起動時およびミュート時などの画面を変更する

本機は起動画面(スプラッシュスクリーン)の画面を任意の映像に変更することができます。また、変更した画面は、メニュー設定により、ミュート時や無信号時のバックカラーの代わりに表示させることもできます。

設定のしかた

メニュー設定のしかたについては、24ページをご覧ください。

1 コンピューターの映像を表示させる
(コンピューターの映像の表示のしかたについては12～15ページをご覧ください。)

2 登録する映像を表示させる

3 設置メニューを表示させる

4 ▲、▼ボタンを押して、「イメージキャプチャー」を選ぶ

5 ENTERボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

背景の色を設定する
(サイズを×1または×2に設定するときのみ選びます。)

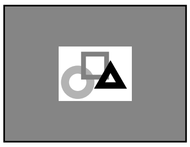
6 ▲、▼ボタンを押して、「バックカラー」を選ぶ

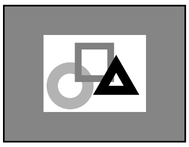
7 ◀、▶ ボタンを押して、背景にしたい色を設定する(GRAY, RED, GREEN, BLUE, BLACK, WHITE, RED50%, GREEN50%, BLUE50%)

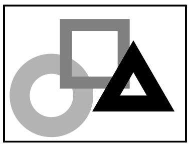
画像の大きさを設定する

8 ▲、▼ボタンを押して、「サイズ」を選ぶ

9 ◀、▶ボタンを押して、設定する(×1、×2、FULL)


x1


x2

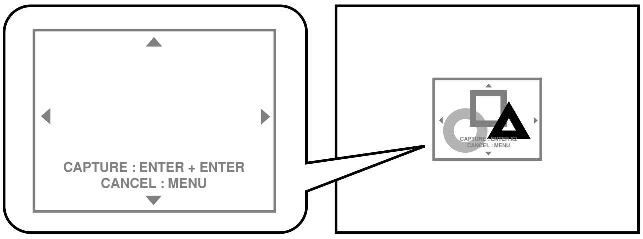

FULL

画像を取込む

10 ▲、▼ボタンを押して、「キャプチャー」を選ぶ

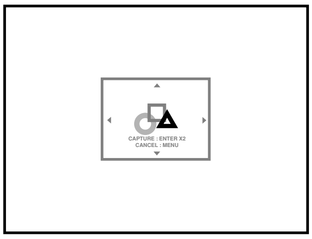
11 ENTERボタンを押す

- 赤枠が表示されます。(赤枠の大きさは、320×240画素です。)
- 赤枠の最外形までの映像が取り込まれます。
- 自動的にREAL表示されます。



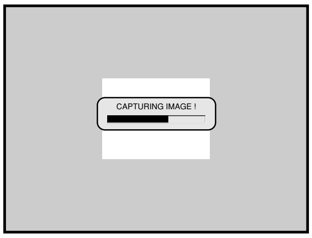
12 取り込む画像が赤枠内に入るように、コンピューター側で画像の大きさを調整する

- ▲、▼、◀、▶ボタンを押すと、赤枠が移動します。
- 表示画面の外周へは赤枠を移動できません。
- MENUボタンを押すとキャンセルされます。



13 ENTERボタンを2回押す

- 取り込みを開始します。



- 取り込みが完了すると、取り込んだ画像が約1秒間表示されます。

- 起動画面は元に戻せません。(オプションメニューのRESET ALLの操作をしても工場出荷時の画面には戻りません。)起動画面を変更したいときは、別の画像を取り込んでください。
- 次の起動時より、取り込んだ画像が表示されます。表示されないときは、設置メニューのスプラッシュスクリーンの設定が「OFF」になっていないか、確認してください。(25ページ参照)
- 取り込んだ画像をミュート時に表示させたいときは、設置メニューのミュートモードの設定を「IMAGE」にしてください。(25ページ参照)
- 設定メニューのバックカラーの設定を「IMAGE」にしておくと無信号時の画面が取り込んだ画像になります。
- 入力信号によっては画像を取り込めない場合があります。

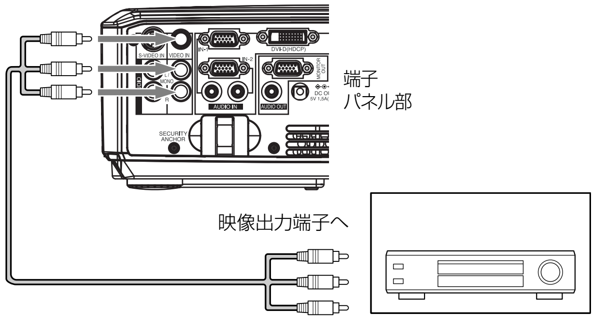
ビデオ機器の映像を見る

A. ビデオ機器と接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する



1 付属のAVケーブルの黄色のプラグを本機のVIDEO IN端子に接続する

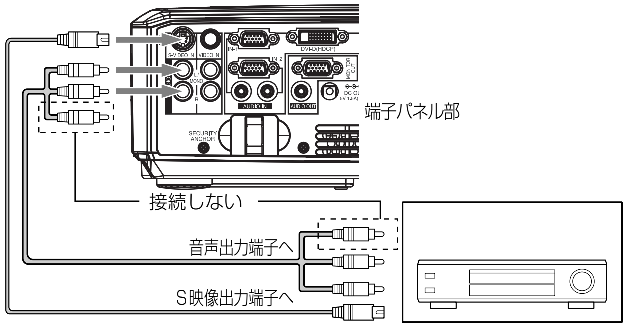
2 付属のAVケーブルの白色(L)および赤色(R)のプラグを本機のAUDIO IN端子に接続する

3 ビデオ機器の映像出力端子にAVケーブルのもう一方の黄色のプラグを接続する

4 ビデオ機器の音声出力端子にAVケーブルのもう一方の白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する

- モノラルビデオ機器の場合は、白色(L)端子に接続してください。AUDIO OUTの出力がL/R両方から出ます。

S映像出力端子付きビデオ機器と接続する



1 市販のSビデオケーブルを本機のS-VIDEO IN端子に接続する

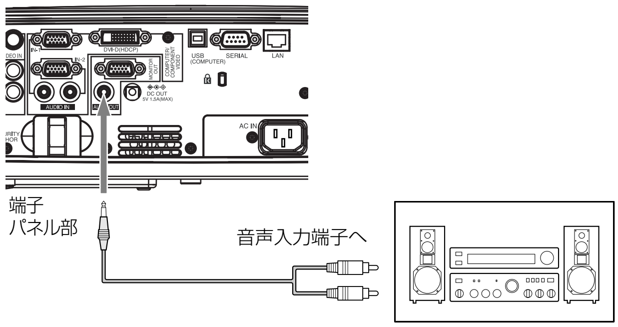
2 ビデオ機器のS映像出力端子にSビデオケーブルのもう一方を接続する

3 付属のAVケーブルの白色(L)および赤色(R)のプラグを本機のAUDIO IN端子に接続する

4 ビデオ機器の音声出力端子にAVケーブルのもう一方の白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する

- 本機側、ビデオ機器側へは黄色(映像)のプラグは接続しません。
- モノラルビデオ機器の場合は、白色(L)端子に接続してください。AUDIO OUTの出力がL/R両方から出ます。

外部スピーカーからプロジェクターに接続している機器の音声を出すときは



1 市販の音声ケーブルを本機のAUDIO OUT端子に接続する

- このとき、内部スピーカーからの音声は出力されなくなります。

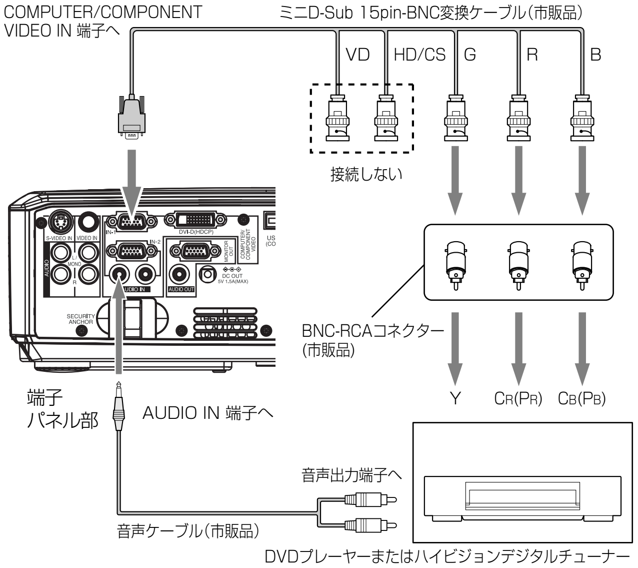
2 外部スピーカーと接続されたアンプの音声入力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

AUDIO OUT端子からの音声について

- 選択している入力の音声が出力されます。
- MUTEボタンを押すと、音声が消えます。
- VOLUME(＋または－)ボタンを押すと、音量が変わります。

DVDプレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

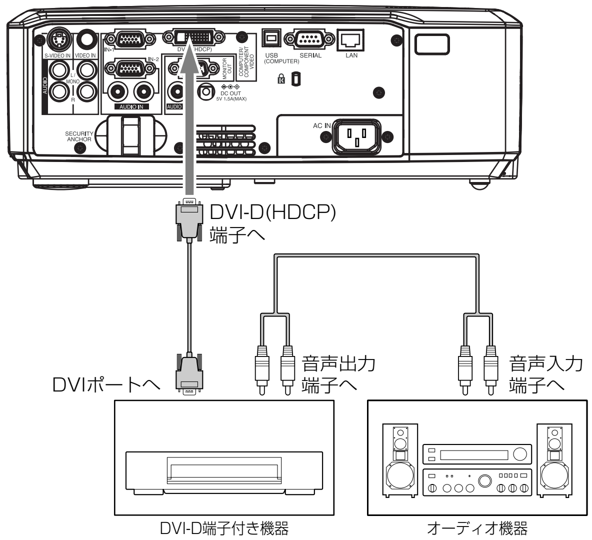
DVDプレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN端子に接続します。



- 接続はミニD-Sub 15pin-BNC変換ケーブルを使用ください。DVDプレーヤーとの接続にはBNC-RCAコネクターが必要となります。
- DVDプレーヤーおよびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。
- R, G, B出力を持つハイビジョン機器と接続するときは、信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。

DVI-D 端子付き映像機器との接続

本機のDVI端子は、DVI-D出力端子付きの映像機器と接続することにより、高画質な映像が投写できます。また、HDCPに対応していますので、DVDプレーヤーなどでの出力で暗号化されたデジタル画像を受信することができます。



- 接続は、市販のDVIケーブルを使用ください。
- 入力切換は、DVI(DVI-D入力)を選択します。
- RGB信号のみに対応しています。色差信号は対応していません。
- HDCP(High-band with Digital Content Protection)とは、Intel社によってコンテンツ保護を目的に開発されたデジタル画像信号の暗号化形式の１つです。
- DVI入力時は、色の濃さ、色合い、分周比、ファイン、上部曲がり補正などの調整はできません。
- 音声入力にはAUDIO IN-1を使用ください。

デジタル機器との接続について

本機とデジタル機器（DVDプレーヤーなど）をDVI-D (HDCP) 端子で接続した場合、機器によっては映像の黒レベルが沈み、黒つぶれすることがあります。これはデジタル映像伝送の規格が2種類あり、黒レベルの設定がそれぞれ異なるためです。デジタル機器によっては異なる規格の信号を出力するものがあります。

- デジタル機器には、デジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されているものがあります。その場合は、下記のように切り換えてください。
  エクスパンドまたはエンハンスド　→　ノーマル
  詳細はデジタル機器の取扱説明書をご参照ください。
- デジタル機器にデジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されていない場合は、画質メニューのアドバンスド メニューの入力レベルの設定を「エンハンスド」にするか、映像に合わせて調整してご覧ください。

B. 電源コードを差し込む

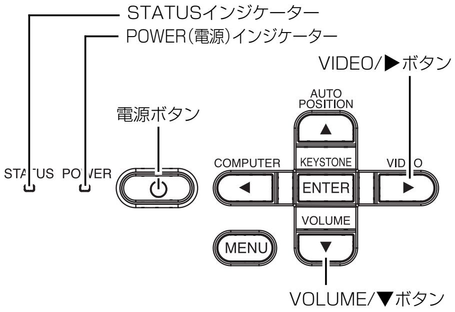
「コンピューターの映像を見る」と同じです。13ページをご覧ください。

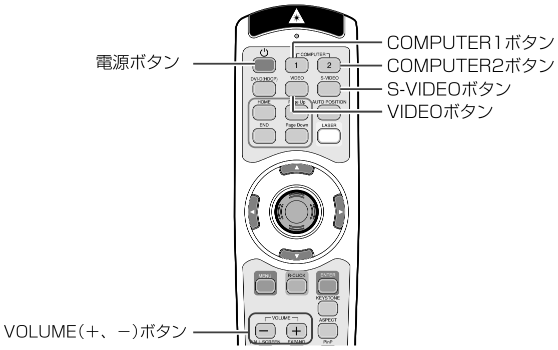
C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- ビデオ機器の電源を入れる

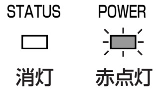
STATUSインジケーター点滅中は
電源「切」の操作はできません。





電源を入れる

1 POWERインジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに差し込むと、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに差し込むと、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタン(⏻)を押して、再度点灯させてください。

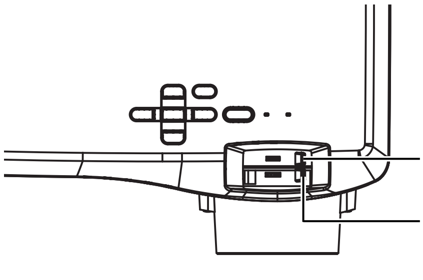
ビデオ機器の映像を見る(つづき)

2 電源ボタン(⏻)を押す

- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度電源ボタン(⏻)を押してください。
- 電源ボタン(⏻)を押したあと、または、ランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約1分で「低」モードに切り換わります。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- レンズキャップ内側のアルミシートを剥がさないでください。

ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する



入力を切り換える

4 リモコンのVIDEO(またはS-VIDEO)ボタンまたは本体のVIDEOボタンを押す

- 本体のVIDEOボタンを押すごとに、「VIDEO」→「S-VIDEO」→「VIDEO」と切り換わります。
- COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1(または2)端子で接続しているDVDプレーヤーやハイビジョンデジタルチューナーの映像を見るときは、COMPUTER1(または2)ボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押します。
- DVI-D(HDCP)端子で接続しているDVDプレーヤーやハイビジョンデジタルチューナーの映像を見るときは、リモコンのDVI-D(HDCP)ボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押します。
- ノートタイプのコンピューターの場合、コンピューター側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは15ページをご覧ください。
- 画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。
- メニュー画面表示中は、入力切換できません。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、11ページの表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(11ページ参照)。

7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

- 必要に応じて、操作 3 〜 7 の設定は微調してください。

音量を調整する

8 リモコンのVOLUME(+または−)ボタンを押して音量を調整する

- 本体で操作する場合は、VOLUMEボタンを押してから、◀または▶ボタンを押して調整します。
- メニューが表示されているときは、VOLUMEボタンははたらきません。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。電源プラグを抜いて電源を切った場合、ランプ性能の劣化や本体故障の原因となることがあります。

9 電源ボタン(⏻)を押す

- 「電源オフ時は再度電源ボタンを押してSTATUSインジケーターが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。
- この状態を解除するには、電源ボタン(⏻)以外のボタンを押してください。または10秒後にメッセージは消えます。

10 電源ボタン(⏻)をもう一度押す

- 光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。

11 STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約2分間そのまま待つ

- スタンバイ状態で約2分間待つのは、光源ランプを冷やすために、吸、排気ファンが回っているからです。
- STATUSインジケーターが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

12 電源プラグをコンセントから抜く

- POWERインジケーターが消灯します。

静止画について

リモコンのSTILLボタンを押すと、映像が一時的に停止します。もう一度押すと通常画面に戻ります。

- 音声は通常どおり聞こえます。
- 静止画中にSTILLボタン以外のボタンを押しても通常画面に戻ります(一部、もどらないボタンもあります)。
- 静止画を表示し続けた場合、残像が発生することがありますので長時間静止画を表示させないでください。

ASPECTボタンについて

スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときにASPECTボタンを押すとアスペクト比が切り換わります。

- ASPECTボタンを押すごとに、「AUTO」→「16:9」→「REAL」→「AUTO」と切り換わります。
- オプションメニューの画角で16:9↵を選択すると、表示位置の選択ができます。
- 長時間16:9画面で使用されたあと、4:3表示で使用されると、画面の上下にマスク部分の痕跡が残る場合があります。(39ページ参照)。

メニューを使って設定する

メニュー遷移図

- 画質
  - カラーエンハンサー
    - AUTO
    - プレゼンテーション
    - 標準
    - シアター
    - sRGB
    - USER↵
      - ガンマモード：ダイナミック, ナチュラル, ディテール
      - RGB-COLOR：± 10
      - RGB-TINT：± 10
      - コントラスト R：± 30
      - コントラスト G：± 30
      - コントラスト B：± 30
      - ブライト R：± 30
      - ブライト G：± 30
      - ブライト B：± 30
  - コントラスト：± 30
  - ブライト：± 30
  - 色温度 *1 *9
    - 標準
    - 低
    - 高
    - USER↵（ガンマモード～ブライト B）
  - 色の濃さ *1 *2：± 10
  - 色合い *1 *2：± 10
  - シャープネス *2：± 5
  - アドバンスド メニュー：OK↵
    - ノイズリダクション *2：ON, OFF
    - CTI *2：ON, OFF
    - 入力レベル：±5 (アナログ信号入力時) / エンハンスド, ノーマル (デジタル信号入力時)
- 設置
  - 壁スクリーン *1
    - ベージュ↵：1 - 5
    - ライトブルー↵：1 - 5
    - ライトグリーン↵：1 - 5
    - ピンク↵：1 - 5
    - 黒板
    - OFF
  - ランプモード：標準, 低
  - オートパワーオン：ON, OFF
  - オートパワーオフ：OFF, 5分, 10分, 15分, 30分, 60分
  - イメージキャプチャー *2 *3：設定↵
    - バックカラー：GREY, RED, GREEN, BLUE, BLACK, WHITE, RED50%, GREEN50%, BLUE50%
    - サイズ：X1, X2, FULL
    - キャプチャー：GO↵
  - スプラッシュスクリーン：ON, OFF
  - バックカラー：BLUE, BLACK, IMAGE
  - ミュートモード：BLACK, IMAGE
  - 反転表示：OFF, 左右, 上下, 上下左右
- オプション
  - 画角
    - AUTO
    - 16:9↵：上, 中央, 下
    - REAL
    - FULL
  - パスワードロック：映像表示↵, キー操作↵, スプラッシュスクリーン↵
    - 設定：OK↵
    - 解除：OK↵
  - メニュー位置：画面左上, 画面右下
  - シネマモード *4：AUTO, OFF
  - 信号判別 *7：AUTO, NTSC, PAL, SECAM, 4.43NTSC, PAL-M, PAL-N, PAL-60
  - セットアップ *2：AUTO, OFF, 3.75%, 7.5%
  - SCART入力 *5：ON, OFF
  - 言語選択：日本語, English, Español, Deutsch, Français, Italiano, 中文, 한국어, РУССКИЙ, PORTUGUÊS
  - RESET ALL：OK↵
- 信号設定
  - メモリー選択 *2 *3：AUTO, メモリー 1↵, メモリー 2↵
  - 解像度 (メモリー記録↵) *2 *3：水平画素数 x 垂直ライン数↵
    - 垂直周波数
    - 水平周波数
    - 水平画素数：640 − 1920 *6
    - 垂直ライン数：350 − 1200 *6
    - 実行：OK↵
    - 中止：OK↵
  - 水平位置 *8：0~999 *6
  - 垂直位置 *8：0~999 *6
  - ファイン *3 *8：0~31
  - 分周比 *2 *3 *8：0~9999 *6
  - COMPUTER入力 *3：AUTO, RGB, YCBCR / YPBPR
  - オーバースキャン *2：100~90% *6
  - 上部曲がり補正 *2 *3 *8
    - OFF
    - ON↵
      - 開始：0~99
      - 終了：0~99
  - 詳細設定：OK↵
    - クランプ位置 *3 *8：1~255
    - クランプ幅 *3 *8：1~63
    - 垂直同期：AUTO, OFF
    - LPF *3 *8：ON, OFF
    - SHUTTER(U)：0~20
    - SHUTTER(L)：0~20
    - SHUTTER(LS)：0~20
    - SHUTTER(RS)：0~20
- 情報
  - ランプ時間 (低モード換算)
  - 入力端子
  - 解像度
  - 垂直周波数
  - 水平周波数
  - 同期信号 *3 *8

● メニュー画面上の「↵」マークのある項目を確定するためには、項目を選んでからENTERボタンを押す必要があります。

*1: カラーエンハンサーの設定がsRGBのとき、選択できません。
*2: 信号の種類によって、選択できないことがあります。
*3: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時は選択できません。
*4: TV50、TV60、480i、576iの信号入力時のみ選択できます。
*5: COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1端子からの信号入力時のみ選択できます。
*6: 信号の種類によって、選択範囲が変わります。
*7: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時のみ選択できます。
*8: DVI入力時は選択できません。
*9: 壁スクリーンの設定が“OFF”以外のとき、選択できます。

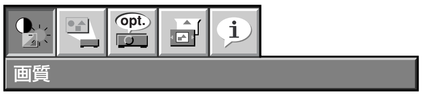
メニューを使って設定する(つづき)

メニュー設定のしかた

画面はオートパワーオンの設定を例として説明しています。

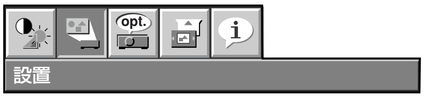
1 MENUボタンを押す

● メニュー選択バーが表示されます。



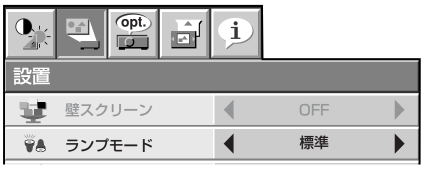
2 ◀、▶ボタンを押して表示させたいメニューを選ぶ

● ◀、▶ボタンを押すごとに、「画質」⇔「設置」⇔「オプション」⇔「信号設定」⇔「画質」と切り換わります。

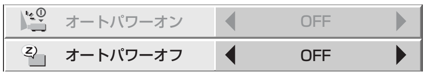


3 ENTERボタン(または▼ボタン)を押す

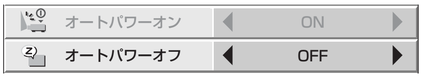
● 希望のメニューが表示されます。



4 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ



5 ◀、▶ボタンを押して設定する



メニューを消すときは

6 MENUボタンを数回押す

● ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができなくなることがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。

● 画質メニュー、信号設定メニュー、および詳細設定メニューの調整は、外部からの入力信号が入力されている状態のみ行えます。

メニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

画質メニュー

※外部信号が入力されていないとアドバンスド メニュー以外調整できません。

設定項目	設定	はたらき
カラーエンハンサー	AUTO	入力信号に適した設定になります(通常はこれを選びます)。
	プレゼンテーション	明るくメリハリのある映像になります。
	標準	自然な映像になります。
	シアター	映画向けにしっとりした映像に設定されます。
	sRGB	色再現性を重視した画像になります。
	USER↵	ガンマカーブ、色の濃さ、色合いをお好みに設定できます(29ページ参照)。
コントラスト	−30 ～ +30	映像のコントラストを調整します(28ページ参照)。
ブライト	−30 ～ +30	映像の明るさを調整します(28ページ参照)。
色温度	標準、低、高、USER↵	映像の色温度を調整します (28ページ参照)。
色の濃さ	−10 ～ +10	映像の色の濃さを調整します(28ページ参照)。
色合い	−10 ～ +10	映像の色合いを調整します(28ページ参照)。
シャープネス	−5 ～ +5	映像の鮮鋭度を調整します(28ページ参照)。
アドバンスド メニュー	OK↵	ENTERボタンを押すとアドバンスド メニューが表示されます。

● カラーエンハンサーの設定をsRGBにしているときは、色温度、色の濃さ、色合いの調整はできません。
● TV50(PAL、SECAM)信号入力時は色合いの調整はできません。
● 色温度は壁スクリーンの設定がOFF以外のとき調整できません。
● COMPUTER1またはDVI入力が選ばれているとき、色の濃さ、色合いの調整はできません。

アドバンスド メニュー

設定項目	設定	はたらき
ノイズリダクション	ON, OFF	ノイズが多い映像信号を入力した場合に、映像のノイズやざらつきを少なくすることができます。
CTI	ON, OFF	色境界部分の色にじみを改善します。
入力レベル	−5〜5	アナログ信号入力時：接続する機器によっては、映像信号が大きいもの(白つぶれする)や小さいもの(暗くなる)があります。このメニューでアナログ映像信号の大きさを調整することができます。
	エンハンスド, ノーマル	デジタル信号入力時：接続するデジタル機器(DVDプレーヤーなど)のデジタル映像信号規格に合わせて設定します。黒つぶれや黒浮きがある場合に切り換えます。

- デジタル信号入力時、接続機器からの信号がYCBCR/YPBPRで出力している場合、入力レベルは選択できません。

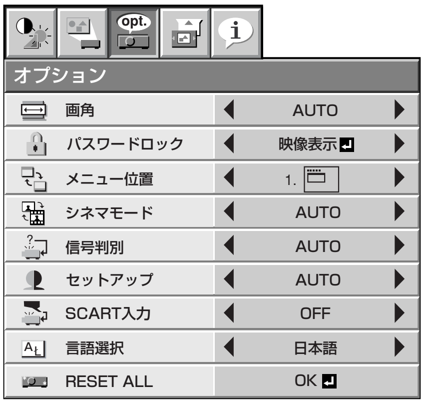
設置メニュー

設定項目	設定	はたらき
壁スクリーン	OFF、ベージュ↵、ライトブルー↵、ライトグリーン↵、ピンク↵、黒板	投写する壁の色に合わせて選択します。黒板以外は色合いを微調整 (1〜5)できます(28ページ参照)。
ランプモード	標準	通常はこれを選びます。
	低	ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
オートパワーオン	OFF	通常はこれを選びます。
	ON	電源プラグをコンセントに接続したとき、自動的に電源が入ります、天吊り時などに設定します。
オートパワーオフ	OFF	オートパワーオフは、はたらきません。
	5分、10分、15分、30分、60分	映像信号が未入力のとき、設定した時間になると自動的に電源が切れます。
イメージキャプチャー		スプラッシュスクリーン(起動画面)を変更するときに選択します。
	バックカラー	無信号時の背景の色を選択します。
	サイズ	画像の大きさを選択します。
	キャプチャー	映像を取り込みます。
スプラッシュスクリーン	ON	電源を入れたとき、スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示します。
	OFF	スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示しません。
バックカラー	BLUE、BLACK	無信号時の背景の色を選択します。
	IMAGE	無信号時の背景にスプラッシュスクリーン(起動画面)を表示します。
ミュートモード	BLACK、IMAGE	AV MUTEボタンを押したとき、真っ黒な画面を表示するか、スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示するか選択します。
反転表示	OFF	床置きで正面から映像を見るときに選びます。通常はこれを選びます。
	左右	床置きでスクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下	天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下左右	天吊りして、正面から映像を見るときに選びます。

- 壁スクリーンはカラーエンハンサーをsRGBに設定している場合は、使用できません。
- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約1分で「低」モードに切り換わります。
- ランプモードを切り換えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは頻繁に切り換えないでください。
- オプションメニューのパスワードロックのスプラッシュスクリーンを設定すると、設置メニューのイメージキャプチャーとスプラッシュスクリーンははたらきません。
- バックカラーかミュートモードでIMAGEを選択し、長時間スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示すると画面に痕跡が残ることがあります。

メニューを使って設定する(つづき)

オプションメニュー



設定項目	設定	はたらき
画角	AUTO	入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。(通常はこれを選びます)
	16:9↵	スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときの投写位置を選択します。ENTERボタンを押すと上、中央、下に表示位置が変更できます。
	REAL	入力信号をそのままの大きさで表示します。
	FULL	入力信号にかかわらず、投写映像をフルサイズ(1024x768画素)で表示します。
パスワードロック	映像表示↵、キー操作↵、スプラッシュスクリーン↵	パスワードロック機能のモード切り換え、パスワードロック機能の設定、解除に使います(32ページ参照)。
メニュー位置	画面左上、画面右下	メニューの表示位置を切り換えます。
シネマモード	AUTO	フィルム映像信号を入力したとき、自動的にフィルムモード処理を行います。
	OFF	フィルムモード処理は行いません。
信号判別	AUTO、NTSC、PAL他	ビデオ信号のカラー方式を選択します(通常はAUTOに設定します)。
セットアップ	AUTO	自動的にセットアップ設定を切り換えます。
	OFF	国内盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。
	3.75%、7.5%	米国盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。
SCART入力	OFF、ON	欧州などで使用されているSCART端子付の機器と接続するときは、ONを選択します。COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1端子からの入力時のみ有効です。通常はOFFを選択します。
言語選択	10言語	メニュー画面などの画面上に表示される言語を選びます。
RESET ALL	OK↵	ENTERボタンを押すと、メニュー画面の設定をすべて工場出荷時の値にもどします(言語選択、パスワードロックを除く)。

- SCART入力の設定を「ON」にしているとき、SCART信号を入力していた場合は外部のモニターへ出力はできません。
- SCART入力の設定を「ON」にしているとき、通常のコンピューター信号は映りません。
- 信号判別の設定を「AUTO」にしているとき、正常に色がつかないことがあります。そのときは、入力信号に合わせた方式に設定してください。
- RESET ALLには、少し時間がかかることがあります。
- SCART端子付の機器の中には、このプロジェクターと互換性がないものがあります。

信号設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。

設定項目	設定	はたらき
メモリー選択	AUTO、メモリー 1↵、メモリー 2↵	記録された解像度(メモリー記録)の設定を選択します。設定が記録されていないときは選べません。通常は、コンピューターからの信号に合わせて自動的に適切な信号形式を設定するAUTOが選択されます。ENTERボタンを押すと記録された設定内容を消去できます。
解像度(メモリー記録↵)		現在の解像度を表示します。ENTERボタンを押すと解像度(メモリー記録)メニューを表示し、その設定内容を変更することができます。変更した設定内容はメモリー 1またはメモリー 2に記録することができます。
水平位置	0 ~ 999	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	0 ~ 999	映像の表示位置を上下に動かします。
ファイン	0 ~ 31	映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
分周比	0 ~ 9999	映像に幅広の縞模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
COMPUTER入力	AUTO	自動的に最適な値に設定します。
	RGB	通常はこちらに合わせます。R,G,B出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、こちらに合わせます。
	YC_BC_R/YP_BP_R	Y、C_B、C_Rコンポーネントビデオ出力端子を持つDVDプレーヤーまたはY、P_B、P_Rコンポーネントビデオ出力端子を持つハイビジョンデジタルチューナーなどと接続するときに設定します。DVDプレーヤーなどで480p(525p)信号を入力するときは、こちらに合わせます。
オーバースキャン	100 ~ 90%	投写映像の表示領域を調整します。
上部曲がり補正	OFF	上部曲がりに対する調整を行いません。
	ON↵	画面に上部曲がりが行ったときに調整します。
詳細設定	OK↵	ENTERボタンを押すと詳細設定メニューが表示されます。

- 設定方法の詳細は30、31ページを参照ください。

解像度(メモリー記録)メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。通常、さわらないでください。

設定項目	設定	はたらき
垂直周波数	―	現在投写中の映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	―	現在投写中の映像信号の水平周波数が表示されます。
水平画素数	640 ～ 1920	現在投写中の映像信号の水平画素数が表示されます。設定内容を変更し、実行を選んでENTERボタンを押すと、指定した解像度で映像を自動調整します。調整した結果は、メモリー 1またはメモリー 2に記録することができます。
垂直ライン数	350 ～ 1200	現在投写中の映像信号の垂直ライン数が表示されます。設定内容を変更し、実行を選んでENTERボタンを押すと、指定した解像度で映像を自動調整します。調整した結果は、メモリー 1またはメモリー 2に記録することができます。
実行	OK↵	ENTERボタンを押すと自動調整が始まります。調整終了後に、メッセージが表示されメモリー 1またはメモリー 2に記録することができます。
中止	OK↵	現在の解像度の設定変更を中止して、信号設定メニューに戻ります。

詳細設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。通常、さわらないでください。

設定項目	設定	はたらき
クランプ位置	1 ～ 255	投写画面が白くつぶれたり黒くつぶれたりするときに調整します。
クランプ幅	1 ～ 63	投写画面が黒くつぶれるときに調整します。
垂直同期	AUTO	通常はこちらに合わせます。
	OFF	映像の動きが不自然なときに合わせます。
LPF	ON、OFF	プログレッシブフィルターをはたらかせるかどうかを選択します。通常はOFFを選択します。
SHUTTER(U)	0 ～ 20	画面の上にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(L)	0 ～ 20	画面の下にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(LS)	0 ～ 20	画面の左にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(RS)	0 ～ 20	画面の右にノイズが出る場合に調整します。

LPF(プログレッシブフィルター)について

ご使用になるDVDプレーヤーによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPFをONにすることによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。ただし、映像の鮮鋭度は弱くなります。

情報メニュー

設定項目	内容
ランプ時間 (低モード換算)	ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。 ● ランプモードを「標準」にして使用した場合、実際に使用した時間よりも長く表示されます。 ● ランプ使用時間が10時間以内の場合、0Hが表示されます。10時間を超えると、1時間単位で表示されます。 ● ランプ使用時間が3000時間を超えた場合、バーは黄色になります。3800時間を超えた場合、赤色になります。
入力端子	現在投写中の入力端子名が表示されます。
解像度	現在投写されている映像信号の解像度が表示されます。
垂直周波数	現在投写されている映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	現在投写されている映像信号の水平周波数が表示されます。
同期信号	現在投写されている映像信号の同期信号形式が表示されます。

映像を調整する

映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト)

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは24ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押す

● 「コントラスト」または「ブライト」を選びます。

コントラスト	◀	0 ▶
ブライト	◀	0 ▶

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

コントラスト .... ▶ボタンを押すごとに、映像が明るくメリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに、映像が暗くしっとりとします。

ブライト .... ▶ボタンを押すごとに、映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに、映像が暗くなります。

白の色合いを調整する(色温度の詳細設定)

メニューを使って色温度(白の色合い)の調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは24ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「色温度」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「USER↵」を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

● 色温度の詳細メニューが表示されます。

色温度-USER		
コントラストR	◀	0 ▶
コントラストG	◀	0 ▶
コントラストB	◀	0 ▶
ブライトR	◀	0 ▶
ブライトG	◀	0 ▶
ブライトB	◀	0 ▶

5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

7 操作5、6を繰り返して設定する

8 MENUボタンを3回押す

色温度について

同じ白色といっても、いろいろの程度があります。白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかった白色となります。本機では、この色温度の設定をコントラスト青とコントラスト赤の数値を変化させることにより、設定します。

● 色温度を高くするには
コントラストB(青)の数値を大きく、コントラストR(赤)の数値を小さく設定します。

● 色温度を低くするには
コントラストB(青)の数値を小さく、コントラストR(赤)の数値を大きく設定します。

色を調整する(色の濃さ、色合い)

メニューを使って映像の色に関する調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは24ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押す

● 「色の濃さ」または「色合い」を選びます。

色の濃さ	◀	0 ▶
色合い	◀	0 ▶

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

色の濃さ .... ▶ ボタンを押すごとに、色が濃くなります。◀ ボタンを押すごとに、色が薄くなります。

色合い .... ▶ボタンを押すごとに、肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに、肌色が紫がかります。

● 「色合い」は、ビデオ入力時のみ表示されます。

● 「色合い」は、NTSC、4.43NTSC時のみはたらきます。

映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス)

メニューを使って映像の鮮鋭度に関する調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは24ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ

シャープネス	◀	0 ▶

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

● 「シャープネス」は、ビデオ入力時のみ表示されます。

スクリーン(壁色)に合わせた色の調整をする

設置メニューの壁スクリーンの設定を壁の色に合わせた設定にすると、簡易的に壁に投影した映像をより自然な色合いに合わせることができます。ベージュ、ライトブルー、ライトグリーン、ピンクの壁紙や黒板に対応しています。黒板以外では、色合いの微調整もできます。

1 設置メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは24ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「壁スクリーン」を選ぶ

壁スクリーン	◀	OFF ▶

3 ◀、▶ボタンを押して投写する壁の色に近い色を選択する

● スクリーンや白い壁に投写する場合は、「OFF」を選択します。

● 「OFF」または「黒板」を選択した場合は、色合いの設定はできません。

4 ENTERボタンを押す

ライトブルー	◀	1 ▶

5 ◀、▶ボタンを押して色合いを調整する

● 「壁スクリーン」は、リモコンのWALL SCREENボタンを押しても調整できます。

独自の明るさと色合いを設定する(カラーエンハンサーの詳細説明)

メニューを使って独自の明るさと色合いのバランスを設定します。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは24ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「カラーエンハンサー」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「USER↵」を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

5 ▲、▼ボタンを押して設定する項目を選ぶ

ガンマモード

最適なガンマに設定します。

ダイナミック .... コンピューター映像に適した設定になります。

ナチュラル .... ビデオ映像に適した設定になります。

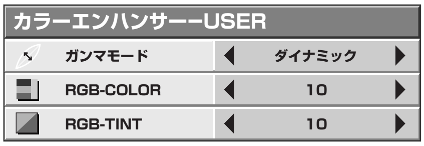
ディテール .... 映画、音楽ライブを見るときなど比較的輝度を抑えたいときに選びます。

RGB-COLOR

映像の色の濃さを設定できます。▶ ボタンを押すごとに、色が濃くなります。◀ ボタンを押すごとに、色が薄くなります。

RGB-TINT

映像の色合いを設定できます。▶ボタンを押すごとに、肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに、肌色が紫がかります。



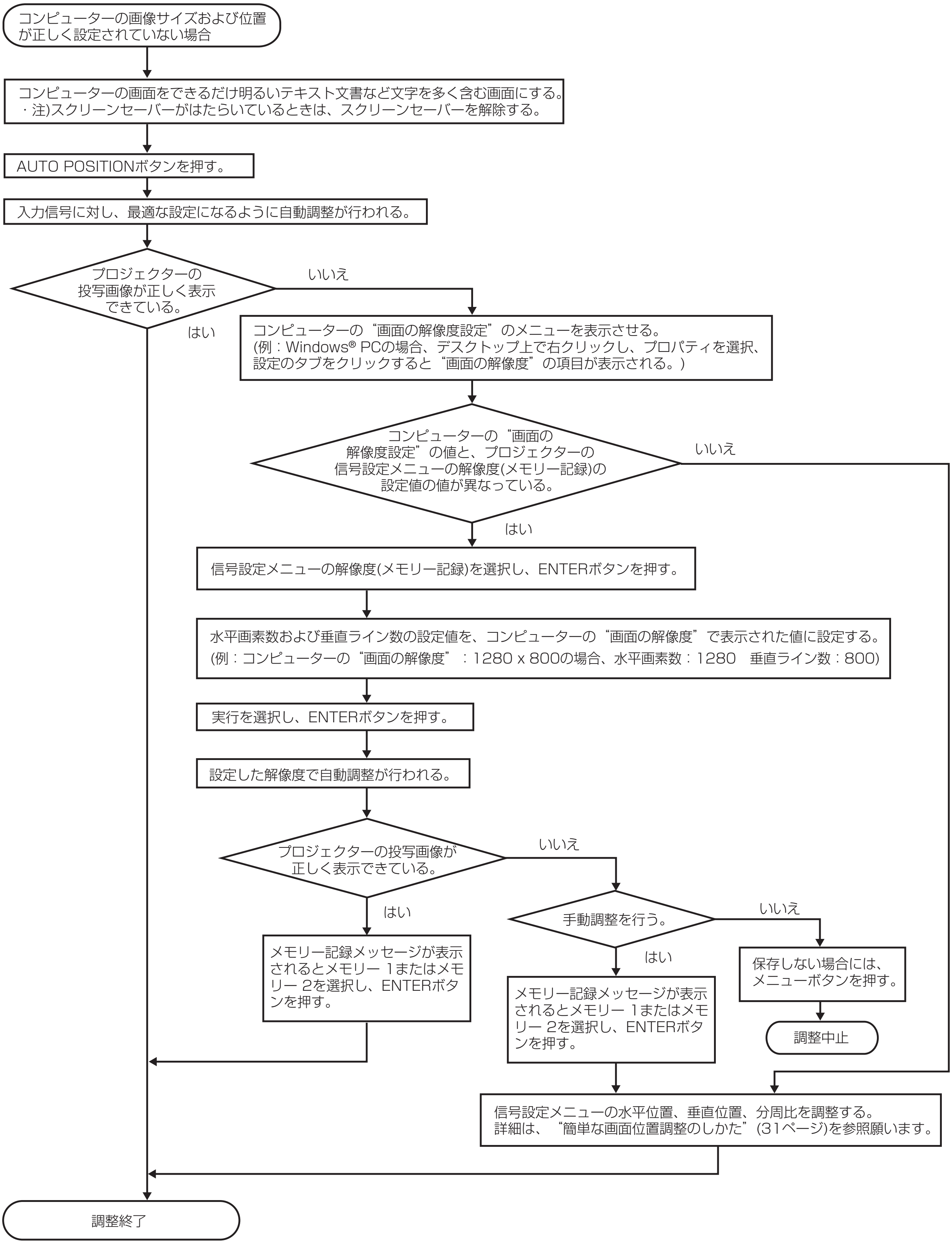
6 ◀、▶ボタンを押して設定する

● 「カラーエンハンサー」は、リモコンのCEボタンを押しても調整できます。

映像を調整する(つづき)

コンピューター映像の調整

本機は、コンピューターからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピューターの種類や表示画像によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは以下の図の流れに従い、調整してください。



メニュー画面を使ったコンピューター映像の調整のしかた

次のような症状のときは、以下のように調整してください。

- **投写画面が左右にずれる**
  信号設定メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに、映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに、映像が左にずれます。
- **投写画面が上下にずれる**
  信号設定メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに、映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに、映像が上にずれます。
- **投写画面がちらつく、ぼける**
  信号設定メニューのファインを調整します。
- **幅広のしま模様が出る**
  信号設定メニューの分周比を調整します。
- **画面が白く(または黒く)つぶれる**
  信号設定メニューの詳細メニューの中のクランプ位置またはクランプ幅を調整します。
- **画面の左右にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細メニューのSHUTTER(LS)またはSHUTTER(RS)を調整します。
- **画面の上下にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細メニューのSHUTTER(U)またはSHUTTER(L)を調整します。
- **画面に上部曲がりがおこる**
  信号設定メニューの上部曲がり補正の設定を変更します。設定を「ON↵」にしてENTERボタンを押し、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がりを少なくします。
- **映像の動きが不自然**
  信号設定メニューの中の詳細メニューの垂直同期を調整します。通常は「AUTO」に設定してください。
  ※ 信号設定メニューの中の詳細メニューの設定は通常、変更しないでください。

簡単な画面位置調整のしかた(AUTO POSITIONボタンで調整できない場合)

水平位置の調整:

1. 水平位置を調整して映像の左端を合わせ、分周比を調整して右端を合わせる。
2. 操作1を繰り返し、水平位置の調整を行う。

垂直位置の調整:

3. 垂直位置を調整して映像の上端を合わせる。

パスワードを設定する

本機はパスワードロック機能により、お子様による誤操作防止および特定者以外による操作を制限することなどができます。

映像表示

電源を入れたとき、起動画面(スプラッシュスクリーン)が表示されたままになります。パスワードを入力することにより、通常の画面に切り換わります。

キー操作

本体の電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります(リモコンのボタン操作はできます)。お子様による誤操作防止や特定者以外による操作の制限ができます。

スプラッシュスクリーン

メニュー画面のスプラッシュスクリーンおよびイメージキャプチャーの設定ができなくなります。このときスプラッシュスクリーンは自動的にONに設定されます。

パスワードロックの設定のしかた

1 オプションメニューを表示させる

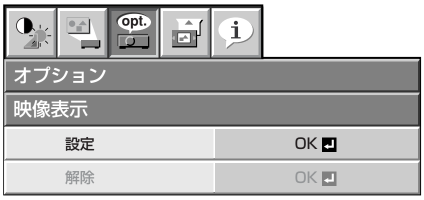
2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

3 ◀または▶ボタンを押してモード(映像表示、キー操作またはスプラッシュスクリーン)を切り換える

- すでにパスワードが設定されているときは、モードは切り換わりません。そのときは、ENTERボタンを押して、パスワードロック機能を解除してから設定し直してください。

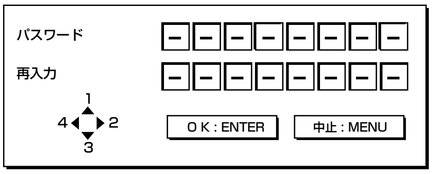
4 ENTERボタンを押す

- パスワードロック画面(設定用)が表示されます。



5 ENTERボタンを押す

- パスワード入力画面が表示されます。



6 ▲、▶、▼または◀ボタンを押して4〜8桁のパスワードを入力する

(▲=1, ▶=2, ▼=3, ◀=4)

7 ENTERボタンを押す

8 同様に再入力欄にパスワードと同じ数字を設定する

9 ENTERボタンを押す

- 再入力欄の数字とパスワードが一致しない場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、MENUボタンを押します。

パスワードロックの解除のしかた

1 オプションメニューを表示させる

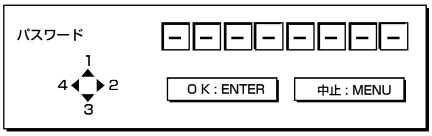
2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

3 ENTERボタンを押す

- パスワードロック画面(解除用)が表示されます。

4 ENTERボタンを押す

- パスワード入力画面が表示されます。



5 ▲、▶、▼または◀ボタンを押して4〜8桁のパスワードを入力する

(▲=1, ▶=2, ▼=3, ◀=4)

6 ENTERボタンを押す

- 誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、MENUボタンを押します。

パスワードを忘れたときは

本体操作パネルのMENUボタンおよびENTERボタンを同時に3秒以上押して、パスワードを解除してください。

コンピューターによる監視と制御

本機はコンピューターによるプロジェクターの監視および制御をLAN回線経由で行うことができます。

- 監視および制御には、付属品のCD-ROM内のソフト「プロジェクターコントロールデバイスインストーラー* (対応OS: Windows® 2000, Windows® XP)」をインストールする必要があります。くわしくはCD-ROM内の「LAN制御UTILITY操作説明書」をご覧ください。

  *) デバイスコントローラーの機能
  - プロジェクターのIPアドレス設定
  - パスワード/表示言語設定/LAN制御設定
  - PJLink®認証設定(Telnet機能)
  - Webブラウザーによる状態制御/監視ツール ProjectorViewの起動

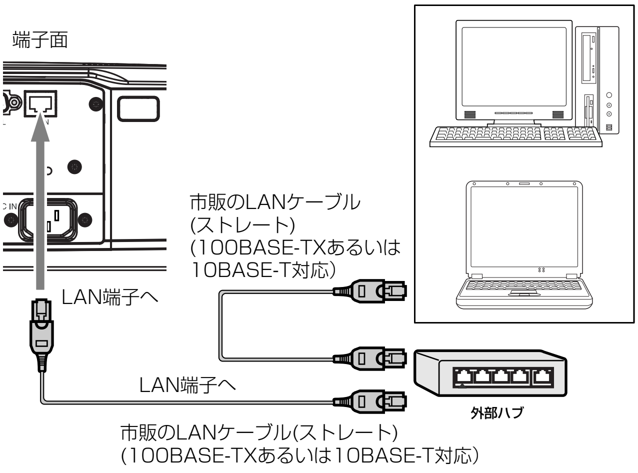
主な機能

- ProjectorView
  Webブラウザーによりプロジェクターの監視と制御を行う
- PJLink®
  プロジェクター制御用の標準プロトコルで、異なるメーカー間、機種間であっても同一のアプリケーションを用いてプロジェクターの監視・制御を行う

PJLink®について

- PJLink®機能を使用するには、別途、PJLink®アプリケーションソフトが必要です。
- PJLinkの仕様に関しては、社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)のWebサイトを参照してください。
  URL　　http://pjlink.jbmia.or.jp/
- 本プロジェクターは、JBMIA PJLinkクラス1の規格に適合しています。PJLinkクラス1で定義されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink標準仕様バージョン1.0で適合を確認しています。

接続



- LANケーブルは、ストレート結線でカテゴリー5対応のものを使用してください。
- 静電気を帯びた手でLAN端子にふれると静電気の放電により、故障の原因となることがあります。LAN端子およびLANケーブルの金属部分には触れないようにしてください。

付属のCD-ROMについて

付属のCD-ROMには、アプリケーションソフト「プロジェクターコントロールデバイスインストーラー」、「LAN制御UTILITY操作説明書」およびAcrobat® Reader™が収録されています。

LAN制御UTILITY操作説明書をご覧になるには

以下の手順に従ってご覧ください。

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる
2. CD-ROM "XL2550" を開く
3. "Manual.pdf" のアイコンをダブルクリックする

- LAN制御UTILITY操作説明書をご覧になるためには、コンピューターにAcrobat® Reader™がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、以下の手順に従ってインストールしてください。

Acrobat® Reader™のインストールについて

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる
2. CD-ROM "XL2550" を開く
3. "ACROBAT_READER" フォルダーを開く
4. インストール用ソフトのアイコンをダブルクリックする
5. 画面の指示に従ってインストールする

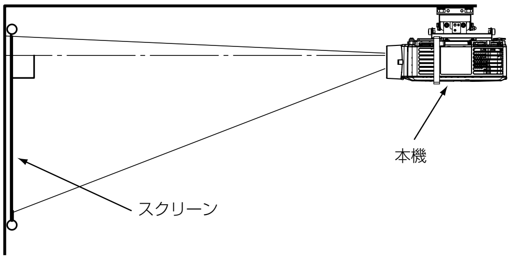
その他

コンピューターによる監視と制御
パスワードを設定する

設置工事を依頼するときは

天吊りして正面から映像を見る場合

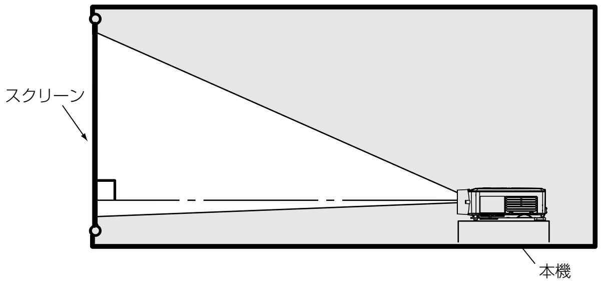
天吊りにする場合は別売の専用天吊り金具(39ページ参照)を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



- 当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天吊りの場合、設置メニューの反転表示を「上下左右」にしてください。くわしくは25ページをご覧ください。
- ブレーカーなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずブレーカーなどで主電源を落としておいてください。
- 天吊りの場合、床置き時に比べて画面の明るさが暗くなることがありますが、故障ではありません。
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体の排気口から温風が出ますので、火災報知器の近くに設置しないでください。

半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

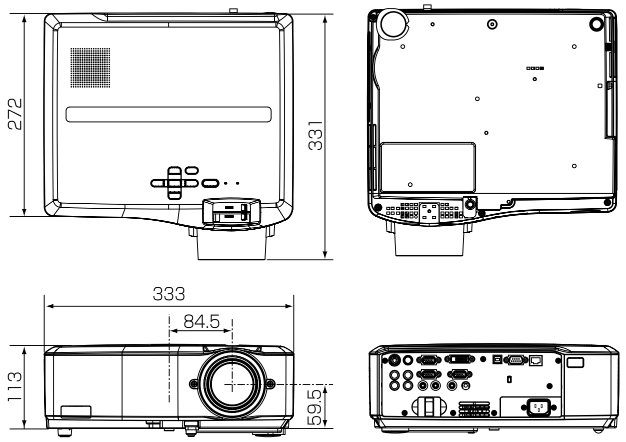
設置工事は、必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



- 裏側から映像を見る場合、設置メニューの反転表示を「左右」にしてください。くわしくは25ページをご覧ください。

寸法図(参考)

単位はmm



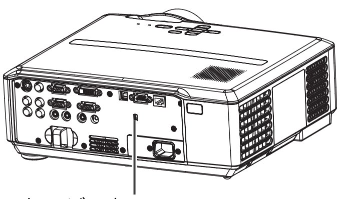
こんな機能もあります

ケンジントンセキュリティースロットについて

ケンジントンセキュリティースロットは、Kensington社セキュリティーケーブルに対応しています。セキュリティースロットおよびセキュリティーケーブルについては、日本総輸入代理店 七陽商事株式会社までお問い合わせください。連絡先は、以下の通りです。

七陽商事株式会社　情報機器事業部
103-0007　東京都中央区日本橋浜町2-55-7　ナナヨウビル
TEL　: 03-3663-7740
FAX　: 03-3669-2367

注）連絡先等は、変更になる可能性があります。ご了承ください。



ケンジントン
セキュリティースロット

お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

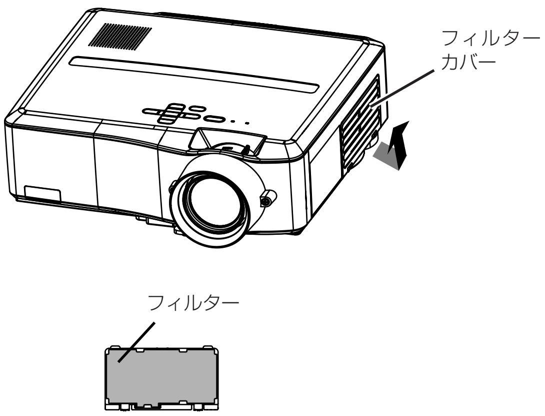
- フィルターを掃除する場合、可燃性のエアークリーナーなどは絶対に使用しないでください。ランプ点灯の際、可燃成分に引火し、火災や故障の原因となることがあります。
- 本体やレンズを掃除する場合、可燃性の溶液(ベンジンやシンナーなど)やスプレーを使用しないでください。

フィルターをきれいにする

フィルターのお手入れはこまめに行ってください(1か月に一度程度)。吸気口にあるフィルターにほこりがたまると本体内部の温度が異常に高くなり、内部部品を傷めたり、パネルの寿命に影響を与えるなどして、故障の原因となることがあります。

- **本体内部の温度が異常に高くなると、STATUSインジケーターがオレンジ色で点滅し、電源が切れて光源ランプが消灯したスタンバイ状態になります。**

吸気口用フィルターの掃除のしかた



1. フィルターカバーのツメを内側に押さえたまま矢印の方向に引く
2. フィルターを取り外す
3. フィルターを洗う
   - 水で洗うか、汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤で洗って、水でよく洗い流してください。洗ったあとは、充分に乾燥させてください。
4. フィルターを本体に挿入する
5. フィルターカバーを本体に取り付ける
   - フィルターの汚れが落ちなかったり、破損した場合は、新しいフィルターをご購入ください。フィルターのご購入に関しては、販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
   - 専用のフィルターをお使いください。

⚠注意

- フィルターは必ず取り付けてご使用ください。フィルターを取り付けずに使用すると内部にほこりや異物が入り、火災、故障の原因となることがあります。

本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れをふき取る

- 汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭いて、乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品(ブローワーブラシなど)でほこりや汚れを取る

- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

光源ランプを交換する

本機には、液晶パネルの映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。
本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。光源ランプは、必ず別売のLVP-XL2550専用の光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店またはテクニカルサポートセンター･ご相談窓口にご依頼ください。

LVP-XL2550 用光源ランプ
形名：VLT-XL650LP

⚠警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜かずに交換を行うと感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと感電や火災の原因となります。入ったものがとれないときは、異物の回収を三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
- 光源ランプは確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取り出した光源ランプは決して振ったり目の上より高い位置にもっていかないでください。ガラス片が飛び散ったり落下して目に入るなどのけがの恐れがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸、排気ファンが止まるまで約2分間お待ちください。そして電源プラグをコンセントから抜き1時間以上たって、充分に冷えてから交換をはじめてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、光源ランプの取っ手を持って行ってください。ガラス片でけがの恐れがあります。三菱電機テクニカルサポートセンターに光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをおすすめします。
- ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

⚠注意

本機は光源ランプの使用時間が3000時間※1を超えるとSTATUSインジケーターが点滅し、パワーオンするたびに画面上に1分間メッセージが表示されます。3800時間※1を超えると以後20時間※1おきに画面上に1分間ランプ交換メッセージ(LAMP EXCHANGE)が表示されます。また、光源ランプの使用時間が4000時間※1※2を超えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換して、使用時間をリセットするまで使用することができなくなります。

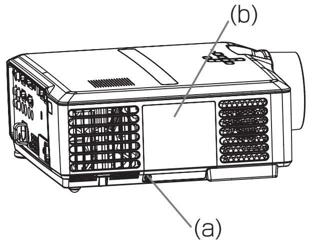
- 光源ランプは、交換以外の目的では取出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音を併なって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプの破裂や不点灯に至るまでの時間は、高圧水銀ランプの個体差や使用条件によって大きな差があり、使用開始後すぐに破裂することがあります。
- 交換時期を超えてお使いになると破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でも速やかに新しい光源ランプと交換してください。
- 高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプボックス部の中や外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります(白いガス)。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合には、速やかに医師にご相談ください。
- 使用済みのランプは、自治体で定められた条例、もしくは規則に従って廃棄してください。
- 光源ランプは専用のVLT-XL650LPをご使用ください。他のランプを使用されると故障の原因となることがあります。

※1 ランプモードを「低」にした場合の時間(「標準」にした場合の時間は短くなります)。
※2 ランプモードを「低」にした場合の時間(「標準」にした場合の時間は2000時間)。

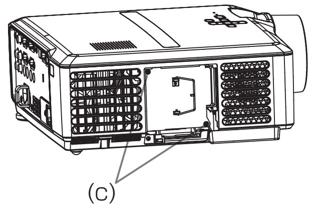
床置き時のランプ交換のしかた

1 電源コードを抜く

2 ランプカバー止めネジ(a)をプラスドライバーで回してゆるめ、ランプカバー(b)を本体から取りはずす

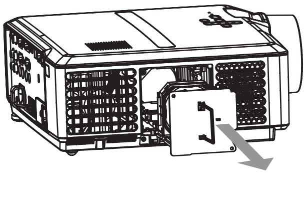


3 ランプボックスの固定ネジ2本(c)をプラスドライバーで回してゆるめる



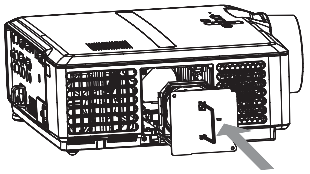
4 取っ手を引きあげる

5 取っ手を持って、ランプを本体から抜き出す



- ランプボックスを本体から抜き出す際は、ゆっくりと行ってください。電球部が破裂している場合は急に抜き出しますとガラス片が飛び散るおそれがあります。
- 取り出した光源ランプに水などをかけたり、お子さまの手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

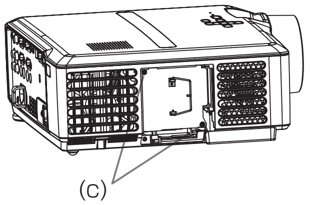
6 新しいランプの取っ手を持って、本体の穴の形状にランプ形状の方向を合わせて、ランプを奥にあたるまで差し込む



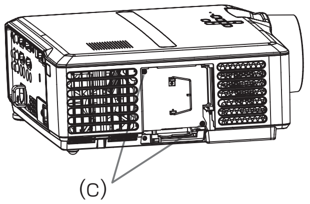
7 取っ手を収納部に押し込む

- 取っ手が確実にロックされていることを確認してください。

8 固定ネジ2本(c)をプラスドライバーで回してしっかりと締める



9 ランプカバーを本体に差し込み、ランプカバー止めネジ(a)をプラスドライバーで回してしっかりと締める



- ランプカバーがはずれているとPOWERインジケーターが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

10 電源プラグをコンセントに差し込む

11 本体操作パネルの◀、▶ボタン、および電源ボタン(⏻)を同時に3秒以上押す

- 3つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。
- 正しくリセットされた場合、STATUSインジケーターが赤色に2回点滅します。点滅したことを確認してください。
- ランプ使用時間が4000時間※を超えていた場合、ランプを交換しても使用時間をリセットするまでは、光源ランプを点灯させることはできません。
- ランプを交換していないときは使用時間をリセットしないでください。

※ ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は2000時間）。

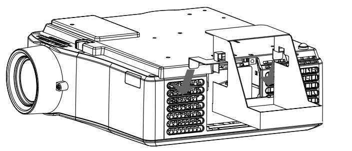
天吊り時のランプ交換のしかた

天吊りしているプロジェクターからランプを取り外すときは、ガラスの破片などから身を守るため、プロジェクターに付属のランプ交換用トレーをお使いください。

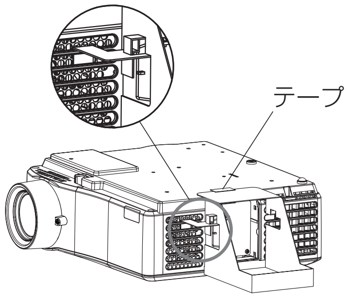
- ランプ交換用トレーの組立てかたについては、トレーに付属の説明書をお読みください。

1 「床置き時のランプ交換のしかた」の操作 1 ～ 4 を実行する

2 ランプ交換用トレーをプロジェクターに取り付ける



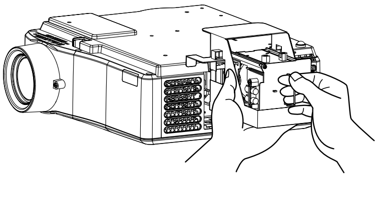
3 ランプ交換用トレーに付属のテープを使って、プロジェクターに取り付ける



4 プロジェクターを固定しながら、ランプボックスをハンドルを使って引き出す

- ランプボックスを取り出す際にガラスの破片などがこぼれないように、ランプ交換用トレーを固定してください。
- ランプの落下の恐れがあるので、ランプをランプ交換用トレーの上に直接載せないでください。

5 ランプ交換用トレーと一緒にランプを取り出す



6 「床置き時のランプ交換のしかた」の操作 6 ～ 11 を実行する

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

映像が映らない

<table>
<tr><th>現象</th><th>確認/処置</th></tr>
<tr><td>電源が入らない</td><td>● インジケーターの光りかたを確認する。
<table>
<tr><th>POWER</th><th>STATUS</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>消灯</td><td>消灯</td><td>● 電源コードを本機に接続する。
● 電源プラグをコンセントに接続する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">赤点灯</td><td>消灯</td><td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本体が冷めているのを確認する。
3. 電源プラグをコンセントに接続する。
4. 電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>オレンジ点滅</td><td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。
● 暖房の吹き出しが、排気口にかからないようにする。
● フィルターが汚れていないか確認する。
→フィルターの手入れをする。</td></tr>
<tr><td>緑点滅</td><td>● STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。
● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続したとき、約1分間点灯できなくなる場合があります。
● 光源ランプを消灯したあと、約1分間は再点灯できません。
● 数回電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>赤点灯</td><td>● 光源ランプを交換する。（光源ランプの寿命に達しています。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">赤/緑点滅</td><td>消灯</td><td>● ランプカバーを取り付ける。</td></tr>
<tr><td>点灯
または
点滅</td><td>● 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>映像が映らない</td><td>● MUTEボタンを押してAVミュートの設定をはずす。
● ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。
● オプションメニューのSCART入力の設定を「OFF」にする(26ページ参照)。
● 吸気口が汚れていないか確認する。
● ランプカバーが閉まっているか確認する(37ページ参照)。
● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。
● レンズキャップをはずす。</td></tr>
<tr><td>電源が切れる</td><td>● 吸気口、排気口がふさがれているときになることがあります。
(このときSTATUSインジケーターはオレンジ点滅しています)
→吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。
1. 吸・排気ファンが止まるまで待つ (STATUSインジケーターが消灯するまで待つ)。
2. 電源プラグをコンセントから抜く。
3. 10分以上待つ。
4. 電源プラグをコンセントに差し込む。
5. 電源ボタンを押す。
● STATUSインジケーターが赤点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。
● オートパワーオフが設定されていませんか。
● ランプが劣化した場合、点灯後しばらくしてから消灯することがあります。</td></tr>
<tr><td>パスワード入力画面が表示される</td><td>● オプションメニューのパスワードロック機能で「映像表示」が設定されています。
→パスワードを入力する、またはプロジェクターの管理者に問い合わせる。</td></tr>
<tr><td>「入力信号がありません」が表示される</td><td>● 接続した機器の電源を入れる。または接続した機器が故障していないか確認する。
● 外部機器の信号が出力されているか確認する。（特にノートタイプのコンピューターの場合）
● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。
● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。
● RGB接続時に延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。</td></tr>
</table>

映像がおかしい

現象	確認/処置
映像がゆれる 画面位置がおかしい	● 外部機器と接続しているケーブルが断線しかかっていないか確認する。 ● 外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● AUTO POSITIONボタンを押す。 ● コンピューターの種類によっては、まれに規格外の信号が出力される場合があるので信号設定メニューで調整する(26ページ参照)。
映像がひずむ	● 本機と投写面が垂直になるように調整する(11ページ参照)。
映像が暗い	● 画質メニューのブライトの調整をする(28ページ参照)。 ● ランプを交換する(36、37ページ参照)。
映像がぼやける	● フォーカスを合わせる。(14、22ページ参照)。 ● レンズをきれいに拭く。 ● リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくす。 ● 画質メニューのブライトおよびコントラストの調整をする(28ページ参照)。 ● 本機と投写面が垂直になるように調整する(11ページ参照)。
画面が焼き付く (残像がある)	● 均一な明るい画面を表示し続けることにより緩和されます。(ゲーム画面などの静止画を長時間投写し続けると、画面の痕跡が残る「焼き付け現象」が発生する場合があります。)
映像に赤、青、緑などの 光る点が見える 映像に黒い点が見える	● 液晶プロジェクター特有の現象です。故障ではありません。 (一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。99.99%以上は有効な画素数です。)
映像に細かい縞模様 が見える	● スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。 ● ご使用になるDVDプレーヤー 、ゲーム機によっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPFをONにすることによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。
映像(および音声)が 乱れる	● 外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● 妨害電波を発信している機器から遠ざける。 ● 入力信号によっては、台形補正を行うと画像が正常に表示されない場合がありますが、故障ではありません。この場合は、台形補正量が少なくなるように再調整してご使用ください。
色合いがおかしい	● 信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定が正しく設定されているか確認する(26ページ参照)。 ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
色合いが異なる	● 本機を2台以上投写し比較した場合、色合いが異なることがありますが、故障ではありません。 ● テレビやパソコンのモニターなどと比較した場合、色再現範囲の違いなどにより色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
コンピューターの動画部分 だけが表示できない	● コンピューターの問題です。コンピューターメーカーにお問い合わせください。
映像がにじむ	● コンピューターの出力解像度をプロジェクターの解像度に合わせる(42ページ参照)。 コンピューターの出力解像度の変更については、コンピューターメーカーにお問い合わせください。 ● 台形補正を使用すると、映像によっては画像や文字がにじんで見えることがあります。 このような場合、台形補正を使用せずにお使いください。
映像の周囲にノイズ が見える	● DVD等の映像によっては、記録されている映像の周囲にノイズがある場合があります。その場合は、信号設定メニューのオーバースキャンの設定値を下げてください。(26ページ参照)

その他

現象	確認/処置
排気口から温風が出る	● 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じることがありますが故障ではありません。
外部音声出力が出ない	● 音量設定が小さくなっていないか確認する。
メニュー設定ができない	● ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。 →一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続する。
画面上に「温度異常！！」 が表示(点滅)がされる	● 周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。 →周辺温度が高くなる原因を取り除く。 ● 吸気口、排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。 →吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。
⃠マークが表示される	● 動作しない操作を行ったときに表示されます。故障ではありません。
リモコンが効かない・ 効きにくい	● 電池が消耗してないか確認する(2ページ参照)。 ● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する(10ページ参照)。 ● リモコンの操作範囲から外れてませんか(10ページ参照)。
本体操作パネルのボタン (電源ボタンを除く)が はたらかない	● オプションメニューのパスワードロック機能で「キー操作」が設定されています。 →設定を解除する。

ランプ交換のあとで、以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

現象	確認/処置
電源が入らない	● 裏面のランプカバーをきちんと取り付ける。 ● ランプ使用時間をリセットする(37ページ参照)。
STATUSインジケーターが点滅する	● ランプ使用時間をリセットする(37ページ参照)。

索引

ア行

アドバンスド メニュー 24
アフターサービス 43
色合い .... 24、28
色温度 .... 24、28
色の濃さ .... 24、28
オートパワーオフ 25
オートパワーオン 25
オプションメニュー 26

カ行

画角 26
画質メニュー 24
画面拡大 17
壁スクリーン .... 25、28
カラーエンハンサー .... 24、29
乾電池を入れる 2
ガンマモード 29
クランプ位置 27
クランプ幅 27
言語選択 26
コントラスト .... 24、28
コンピューターとの接続 12

サ行

上部曲がり補正 .... 26、31
シャープネス .... 24、28
仕様 41
詳細設定メニュー 27
信号設定メニュー 26
信号判別 26
接続
　コンピューター 12
　ビデオ機器 20
　DVD プレーヤー 20
　ハイビジョンデジタルチューナー 20
接続できる信号の種類 42
設置メニュー 25

タ行

台形補正 11
投写角度の調整 11
投写距離 11

ハ行

パスワード 32
バックカラー 25
反転表示 25
ビデオ機器との接続 20
ピントの調整 .... 14、22
付属品 2
ブライト .... 24、28
分周比 .... 26、31
別売品 41

マ行

メニュー位置 26
メニュー設定のしかた 24

ラ行

ランプカバー 36
ランプの交換 36
ランプモード 25
リモコン受光部 .... 8、10

A

AUTO POSITION ボタン .... 8、9、15
AV ミュート 17

C

COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN, 端子 .... 8、12、20
COMPUTER(1、2)ボタン ... 8、9、14、21

D

DVI-D 端子 .... 8、13、21
DVD プレーヤーとの接続 20

E

ENTER ボタン .... 8、9、24
EXPAND ボタン .... 9、17

K

KEYSTONE ボタン .... 8、9、11

M

MENU ボタン .... 8、9、24
MUTE ボタン .... 9、17

P

PinP ボタン .... 9、18
POWER インジケーター .... 8、13、21、38、裏表紙

S

SCART 入力 26
SERIAL 端子 8
SHUTTER(L) .... 27、31
SHUTTER(LS) .... 27、31
SHUTTER(RS) .... 27、31
SHUTTER(U) .... 27、31
sRGB 24
STATUS インジケーター .... 8、13、21、38、裏表紙
S-VIDEO IN 端子 .... 8、20

V

VIDEO ボタン .... 8、9、21
VOLUME ボタン .... 9、14、21
VIDEO IN 端子 .... 8、20

端子について

SERIAL端子（D-Sub 9ピン）

PIN No.	名　　称	I/O
1	−	−
2	TXD	入力
3	RXD	出力
4	−	−
5	GND	−
6	−	−
7	−	−
8	−	−
9	−	−

COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-/IN-2端子（ミニD-Sub 15ピン）

PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	DDC 5V (*1)
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	GND
4	GND	12	DDC Data (*1)
5	GND	13	HD/CS (*1)
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC Clock
8	GND		

（*1：IN-1端子のみ）

MONITOR OUT端子（ミニD-Sub 15ピン）

PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	−
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	−
4	−	12	−
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	−
8	GND		

COMPUTER/COMPONENT VIDEO DVI-D(HDCP)端子（DVI-D 24ピン）

PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様
1	TMDS DATA 2−	9	TMDS DATA 1−	17	TMDS DATA 0−
2	TMDS DATA 2+	10	TMDS DATA 1+	18	TMDS DATA 0+
3	TMDS DATA 2 Shield	11	TMDS DATA 1 Shield	19	TMDS DATA 0 Shield
4	−	12	−	20	−
5	−	13	−	21	−
6	DDC Clock	14	+5V Power	22	TMDS Clock Shield
7	DDC Data	15	GND (for +5V)	23	TMDS Clock+
8	−	16	Hot Plug Detect	24	TMDS Clock−

仕様 （仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。）

形式			LVP-XL2550
表示方式			p-Si TFT透過形液晶×3枚
光学方式			ダイクロイックミラーによる色分離・プリズム色合成方式
表示素子	サイズ		0.8形×3(枚)、アスペクト比4:3
	画素数		786,432画素(1024×768)×3枚
投写レンズ	焦点距離		f=29～37mm
	F値		F1.7～F2.0
光源			高圧水銀ランプ　261W
画面サイズ(投写距離)			最小40形～最大300形(投写距離1.4～10.9m)
音声出力			3W、モノラル
スピーカー			口径φ 4.5cm、個数 1
表示可能解像度	コンピューター信号入力時		最大入力解像度:1600×1200ドット(圧縮表示) パネル表示解像度:1024×768ドット
	ビデオ信号入力時		表示可能信号:NTSC、4.43NTSC、PAL、SECAM、PAL-N、PAL-M、PAL-60 NTSC水平解像度:600TV本(S端子入力時)
	コンポーネントビデオ信号入力時		表示可能信号:480i, 480p, 576i, 576p, 720p, 1080i パネル表示解像度:1024×768ドット
コンピューター入出力	コンピューター入力	映像入力	ミニD-Sub15ピン(RGB、Y/PB/PRまたはY/CB/CR信号対応)、2系統 ・RGB:0.7Vp-p 75Ω/1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・Y:1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・PBPR/CBCR:0.7Vp-p 75Ω ・HD/CS:TTLレベル(負または正極性) ・VD:TTLレベル(負または正極性)
			DVI-D、1系統
		音声入力	φ 3.5mm ステレオミニジャック、2系統 ・200mVrms 10kΩ以上
	コンピューター出力	映像出力	ミニD-Sub15ピン(RGB/YPBPR/YCBCR出力)、1系統 ・コンピューター入力と同一の信号形式で出力
		音声出力	φ 3.5mm ステレオミニジャック、1系統（ビデオ出力と共有）
ビデオ入出力	ビデオ入力	映像入力	RCA 端子、1系統 ・1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) S端子、1系統 ・Y：1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・C：0.286Vp-p 75Ω(バースト信号)
		音声入力	RCA 端子×2(L、R)、2系統 ・350mVrms 10kΩ以上
	ビデオ出力	音声出力	φ 3.5mm ステレオミニジャック、1系統（コンピューター出力と共有）
制御入出力 / その他			シリアル端子(D-Sub 9ピン、RS-232C準拠):1系統、プロジェクター本体制御用 USB端子(Bタイプ):1系統、LAN端子:1系統、コンピューター制御用 DC出力端子:1系統　5 V 最大1.5 A、無線LANユニット*用
使用温度(使用湿度)			使用温度範囲：5～35℃(使用湿度範囲：30～90%)
電源			AC100V、50/60Hz
消費電力			3.9A　380W
外形寸法			W(幅)333mm × H(高さ)113mm × D(奥行き)272mm　※本体突起部含まず
質量			4.7kg

*:無線LANユニットは付属されていません。

「JIS C 61000-3-2適合品」:
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

別売品

スクリーン	（形名 SCR-A50P）	オプションレンズ	（形名 OL-XL2550SZ）	光源ランプ	（形名 VLT-XL650LP）
	（形名 SCR-A60P）		（形名 OL-XL2550LZ）	天吊り金具	（形名 BR-XL650）
	（形名 SCR-A80P）		（形名 OL-XL2550TZ）	高天井用ポール	（形名 BR-XD400P）

仕様(つづき)

接続できる信号の種類

信号表示	解像度 (H x V)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	通常表示 (H x V)	リアル表示 (H x V)	
TV60,480i(525i)	–	15.73	59.94	1024 x 768	–	*1
TV50,576i(625i)	–	15.63	50.00	1024 x 768	–	*1
1080i 60(1125i 60)	–	33.75	60.00	1024 x 576	–	*1, *2
1080i 50(1125i 50)	–	28.13	50.00	1024 x 576	–	*1
480p(525p)	–	31.47	59.94	1024 x 768	–	*1, *2
576p(625p)	–	31.25	50.00	1024 x 768	–	*1, *2
720p 60 (750p 60)	–	45.00	60.00	1024 x 576	–	*1, *2
720p 50 (750p 50)	–	37.50	50.00	1024 x 576	–	*1
CGA70	640 x 400	31.47	70.09	1024 x 640	640 x 400	
CGA84	640 x 400	37.86	84.13	1024 x 640	640 x 400	
CGA85	640 x 400	37.86	85.08	1024 x 640	640 x 400	
VGA60	640 x 480	31.47	59.94	1024 x 768	640 x 480	*2
VGA72	640 x 480	37.86	72.81	1024 x 768	640 x 480	
VGA75	640 x 480	37.50	75.00	1024 x 768	640 x 480	
VGA85	640 x 480	43.27	85.01	1024 x 768	640 x 480	
SVGA56	800 x 600	35.16	56.25	1024 x 768	800 x 600	
SVGA60	800 x 600	37.88	60.32	1024 x 768	800 x 600	*2
SVGA72	800 x 600	48.08	72.19	1024 x 768	800 x 600	
SVGA75	800 x 600	46.88	75.00	1024 x 768	800 x 600	
SVGA85	800 x 600	53.67	85.06	1024 x 768	800 x 600	
SVGA95	800 x 600	59.97	94.89	1024 x 768	800 x 600	
XGA60	1024 x 768	48.36	60.00	1024 x 768	1024 x 768	*2
XGA70	1024 x 768	56.48	70.07	1024 x 768	1024 x 768	
XGA75	1024 x 768	60.02	75.03	1024 x 768	1024 x 768	
XGA85	1024 x 768	68.68	85.00	1024 x 768	1024 x 768	
SXGA70a	1152 x 864	63.85	70.01	1024 x 768	1024 x 768	*4
SXGA75a	1152 x 864	67.50	75.00	1024 x 768	1024 x 768	*4
SXGA85a	1152 x 864	77.49	85.06	1024 x 768	1024 x 768	*4
SXGA60b	1280 x 960	60.00	60.00	1024 x 768	1024 x 768	*4
SXGA75b	1280 x 960	75.00	75.00	1024 x 768	1024 x 768	*4
SXGA60	1280 x 1024	63.98	60.02	960 x 768	1024 x 768	*2, *4
SXGA75	1280 x 1024	79.98	75.02	960 x 768	1024 x 768	*4
MAC13	640 x 480	35.00	66.67	1024 x 768	640 x 480	
MAC16	832 x 624	49.72	74.55	1024 x 768	832 x 624	
MAC19	1024 x 768	60.24	75.02	1024 x 768	1024 x 768	
HP75	1024 x 768	62.94	74.92	1024 x 768	1024 x 768	
HP72	1280 x 1024	78.13	72.00	960 x 768	1024 x 768	*4
SUN66a	1152 x 900	61.85	66.00	984 x 768	1024 x 768	*4
SUN76a	1152 x 900	71.81	76.64	984 x 768	1024 x 768	*4
SUN66	1280 x 1024	71.68	66.68	960 x 768	1024 x 768	*4
SUN76	1280 x 1024	81.13	76.11	960 x 768	1024 x 768	*4
SGI72	1280 x 1024	76.92	72.30	960 x 768	1024 x 768	*4
SGI76	1280 x 1024	82.01	76.00	960 x 768	1024 x 768	*4
UXGA60	1600 x 1200	75.00	60.00	1024 x 768	–	*3, *4

*1: 拡大表示、PinPには対応していません。
*2: DVI端子に対応しています。
*3: 間引きされて表示されます。リアル表示ははたらきません。
*4: PinPははたらきません。

- 本機の最大解像度は1024×768ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。
- SYNC ON G対応の信号は、映像が緑っぽくなることがあります(このとき、詳細設定メニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整してください)。
- SYNC ON G対応の信号は、画面が少し揺れることがあります。
- 表に載っていない解像度と周波数のときは、接続するコンピューターの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。
- 1080iはハイビジョン信号を表します。
- ハイビジョン信号などをRGB信号で入力するときは、信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。
- ハイビジョン信号を表示しているとき、インターレス信号の構造上、画質が劣化します。
- 480pの4線(R、G、B、CS*)出力機器および5線(R、G、B、H、V)出力機器について本機は対応していません。
  *Composite Sync

リアル表示について

投写画面上にモアレが発生したり、または投写画面上の線の太さがばらつくときは、入力信号そのままの大きさで表示(リアル表示)することにより、見やすくなることがあります。リアル表示にするためには、あらかじめ、オプションメニューの画角の設定を「REAL」にします(メニュー設定のしかたについては、24ページ参照)。

- リアル表示中は、拡大率の変更および拡大させる範囲の変更はできません。
- パネル解像度より大きい信号は中央部分のみ表示されます。はみ出した部分は表示されません。
- パネル解像度より小さい信号は黒枠付きで表示されます。

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

● 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日から１年間です
但し、光源ランプは１年以内で500時間まで

● **ランプ使用時間の確認方法**
スタンバイ状態で、▲、▼ボタンを押しながら、電源ボタン（⏻）を押したとき、STATUSインジケーターが約５秒間、緑色に点灯すれば、ランプ使用時間は500時間以内です(ランプ使用中は点灯しません)。

● **光源ランプを交換されるときは**
光源ランプは専用のVLT-XL650LPをご使用ください。他のランプを使用された場合、製品の保証を受けられないことがあります。

■補修用性能部品の最低保有期間

● 当社は、液晶プロジェクターの補修用性能部品を、製造打切り後最低8年間保有しています。
● 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
● 光源ランプなどの消耗部品の他に、液晶パネル、偏光板、PBS(光偏光素子)、カラーホイールなどの光学部品及び冷却ファンは寿命部品で、定期的な交換が必要です。長時間(毎日６時間以上)ご使用されると、１年未満であっても修理・交換が必要になる場合があります。また、たばこの煙やほこりの多い場所でご使用になると、定期的な交換サイクルを早める場合があります。詳しくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

● 三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■修理を依頼されるときは

◎「故障かなと思ったら」の手順にしたがって、お調べください。
● なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

◎ **保証期間中は**
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、三菱電機テクニカルサポートセンターが修理させていただきます。

◎ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◎ **修理料金は**
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

◎ **ご連絡いただきたい内容**

1. 品　　名　三菱液晶プロジェクター
2. 形　　名　LVP-XL2550
3. お買上げ日　　年　　月　　日
4. 故障の状況　(できるだけ具体的に)
5. ご 住 所　(付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

お問合わせ窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客さまからご提供いただきました個人情報を、下記のようにお取り扱いします。

1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理･保守･工事､および製品のお取り扱いに関連してお客さまよりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質やサービス品質の改善･製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために､お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客さまからご了解をいただいている場合および下記の場合を除き､当社以外の第三者に個人情報を提供･開示することはありません。
   ① 上記利用目的のために､当社グループ会社･協力会社などに業務委託する場合。
   ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は､お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

三菱電機
テクニカルサポートセンターのご案内

テクニカルサポートセンター

修理、取り扱いのご相談、技術的なお問合わせは

全国どこからでもおかけいただける
三菱電機テクニカルサポートセンター
0120-32-7440（無料）
Tel:075-353-0654
(携帯電話、PHSでお問い合わせの場合)

■受付時間　平日・土日・祝日（弊社指定休日除く）
午前９：00～12：00/午後１：00～9：00

FAX　075-353-0685
E-mail　pep-m@fuso.co.jp

この製品に関する**詳細情報**や**応用例**などを、WWWサーバでもご提供しています。
www.MitsubishiElectric.co.jp/projector/business

三菱電機株式会社（本社窓口）

購入、買替えのご相談は
三菱電機株式会社（本社窓口）
TEL:03-3218-6107（有料）

■ 受付時間　平日（土日・祝日・弊社指定休日除く）
午前９：00～12：00/午後１：00～5：30

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

インジケーターの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが2つあります。インジケーターの光りかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

正常時

POWER	STATUS	状態	備考
赤点灯	消灯	電源スタンバイ状態	
	緑点滅	クーリング中	電源「入」の操作はできません。
緑点灯	緑点滅	ランプスタンバイ状態	電源「切」の操作はできません。
	緑点灯	電源「入」（通常時）	

異常時

POWER	STATUS	状態	処置
緑点灯 または 赤点灯	オレンジ点滅	本機内部が高温になっている ・吸気口または排気口をふさいでいる。 ・暖房の吹出し口など高温になる場所で使用している。	・ふさいでいる物をとる。 ・設置場所を変える。
赤点灯	緑点滅	保護回路がはたらいている または ランプが異常	・STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す。 上記の操作を数回行っても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換してください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
緑点灯	赤/緑点滅	ランプ交換表示(通算約3000時間※1使用・電源が「入」のとき)	光源ランプを交換してください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
赤点灯	赤点滅	ランプ交換表示(通算約3000時間※1使用・電源が「切」のとき)	
	赤点灯	ランプ交換表示(通算約4000時間※1※2使用)	
赤/緑点滅	消灯	ランプカバーが開いている	ランプカバーを閉じる。
	点灯 点滅	故障	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

※1　ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は短くなります）。
※2　ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は約2000時間）。

● ご購入店などをメモしておきますとあとで役にたちます。

購入年月日

購入店名（住所）

電話番号

この液晶プロジェクターの形名はLVP-XL2550です。

愛情点検　● 長年ご使用の場合は点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか		ご使用中止	
このような症状はありませんか	● 電源コード、電源プラグが異常に熱い。 ● コゲくさい臭いがする。 ● 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ● 電源スイッチを入れても映像がでない。 ● 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。 ● その他の異常・故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

液晶プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

B

三菱電機株式会社

PRINTED IN JAPAN　京都製作所　〒617－8550 京都府長岡京市馬場図所1番地　871D494B7